

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第十三回

會議

大正十五年二月十九日(金曜日)午前十一時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

堤 康次郎君

堀切善兵衛君

長田 桃藏君

山内 範造君

沼田嘉一郎君

佐々木平次郎君

今十九日委員佐藤富十郎君、佐々木文一君及阿由葉勝作君辭任ニ付其ノ補闕トシテ三好榮次郎君、竹内友治郎君及堤康次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏技師 矢部規矩治君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

商工省工務局長 宮内國太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工技師 大山清一郎君

商工技師 中井 武雄君

商工技師 三輪 震一君

農林技師 窪田 圓平君

農林技師 窪田 圓平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 ソレデハ關稅定率法中改正法律案ノ委員會ヲ、前日ニ引續イテ開キマス——堀切善兵衛君

○堀切委員 私ノハ此類ニ直接當筋ラヌカモ知レマセヌガ、併シ第五、第六、第七、第八ト云フヤウニ、此前ノ贅澤品關稅ガ入ッテ居ルト思ヒマスカラ、アノ奢侈品關稅制定以來、奢侈品ノ輸入ナドハドンナ風ニナッテ居リマスカ、其大體ヲ一寸承リタイ

○矢部政府委員 贅澤品稅ガ行ハレマシタノハ、大正十三年八月カラデゴザイマス、ソレカラ大正十四年ノ七月ニ至リマスル贅澤稅ニ限ラレテアル所ノ物品ノ輸入額ハ、千九百八十七萬圓デアリマス、之ヲ前年ノ輸入額ニ比較致シテ見マスルニ、大正十二年八月カラ、十三年七月ニ至ル輸入額四千三百十六萬圓ニ比較致シテ見マスルト、二千三百餘萬圓減少シテ居リマス、斯様ナ次第デアリマス

○堀切委員 此稅ガ輸入防遏ノ上カラ洵ニ結構ナ事實ヲ示シテ居ルト云フコトハ、之ニ依テ十分分リマスカ、價ノ方ハ分リマセヌデセウカ、十割關稅ノ結果、ドウ云フヤウナ影響ヲ市價ノ上ニ及ボシテ居ルカト云フコトヲ承リタイ

○矢部政府委員 此點ニ付キマシテハ、先般主稅局長カラ御答シテ居ッタカト思フノデアリマスガ、十割ヲ掛ケラレマシタ所ガ、大分需要ハ減ジテ居ルヤウデアリマス、値段ニ付テハ、是ハ多少勉強シテ來ルトカ何トカ云フ餘裕ガゴザイマス所カラシテ、割合ニ上ッテ居ラヌヤウニ思ヒマス

○堀切委員 贅澤品關稅實施後ノ經過ヲ承リタウゴザイマス、輸入額ハ大變減ルヤウデ、此點ニ付テハ輸入防遏上相當效果ハ顯著ナコトヲ認メテ満足致シマスガ、同時ニ代價ノ方ハ十割上ゲタカラ、必ズシモ十割上ルト云フモノデナイ、是ハ常識上當然想像シ得ルコトデアリマスガ、モウ少シ詳シク價ノ點ニ付テ、御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○黑田政府委員 一昨年ノ夏、贅澤品關稅ヲ設ケマシタ以來、其當時ニ於キマシテハ御承知ノ通り、稅法ガ議會ニ提案セラレマシタ七月六日以前ニ、外國ノ港ヲ積出シタモノデ航海中ニアリマスル品物ニ付テ、法律ガ施行セラレマシテ、七月三十日以前ニ申告致シマシタモノニ付キマシテハ、申告當時ノ法律ヲ適用シタ結果、初ノ間ハ尙ホ舊稅率ヲ適用セラルルモノガ相當入ッテ參ッタノデアリマス、隨テ初ノ間ハ其效果ヲ現ハスコトガ少カッタケレドモ、漸次其效果ヲ示シ、其後内地ニ於ケル消費モ自然ニ減ジテ參リマスシ、又輸入モ隨テ減少致シマシテ、昨年ノ——施行前ノ一箇年、即チ大正十二年八月カラ十三年ノ七月マデノ一箇年ト、施行後ノ大正十三年ノ八月カラ十四年ノ七月マデ、即チ施行後トノ一箇年間ヲ比較シテ見マスと云フト、ソレニ該當スルモノガ施行前ノ四千三百萬圓ニ對シマシテ、二千三百萬圓ヲ減少シタト云フ結果ニ相成ッテ居ルノデアリマス、是ハ著シク其數量ヲ減ジテ居ルノデアリマス、而シテ大體贅澤稅ヲ掛ケテ居ル舶來品ノ内地ニ於キマスル價格ヲ、主ナル品物ニ依テ調査シテ見タノデアリマスガ、ソレハ法律施行前ノ大正十三年六月ヲ基準トシテ見マスルト、大體五割弱ノ騰貴ニナッテ居リマス、十一月分ハ今持ッテ居リマスガ、是ハ四割六分ノ騰貴ニナッテ居リマス、其後少シ上ッタリ下ッタリシテ居リマスガ、一月ハ少シ下ッテ居リマス、ソレカラソレニ相當スル内地品ハ總平均ニ致シマシテ五分位ノ騰貴ニナッテ居リマス

○堀切委員 此統計ヤ參考材料ヲ頂戴致シタイト思ヒマス

○黒田政府委員 宜シウゴザイマス

○堀切委員 收入見込ニ付テ統計ヲ頂戴致シマシタガ、此中デ大正十五年度ニ税率改正ニ依ル收入ノ増見込、大正十三年輸入額震災免稅品三分ノ一ヲ除キ、是ヨリ一割五分ヲ減ジ、改正税率ヲ乗ジタルモノ一億二千六百餘萬圓ト、斯ウナッテ居リマスガ、内大正十三年ノ輸入額ノ中カラ震災免稅品三分ノ一ヲ除イテ、更ニ一割五分ヲ其中カラ減ジテ、其收入額ニ對シテ改正税率ヲ乗ジタルノガ、此十五年度ノ稅額トナッテ居リマスガ、此改正税率ヲ乗ズルニ當ッテ、今回税率ノ平均ヲ何程増シタト云フノデ、平均デモ乗ジタルノデアリマスガ、或ハ一々品物ニ付テ増減ノ率ヲ差引計算ヲシテ、一ツ々々輸入品ニ付テ改正税率ヲ乗ジタルノデアリマスガ

○黒田政府委員 主ナルモノハ一ツ一ツデアリマスガ、細カイモノニ付テハ平均ノ率ヲ盛ツタモノモアリマスガ、大體一ツ々々御承知ヲ願ヒタイ

○堀切委員 細カイモノノ區別ヲドウシテ御付ケニナリマスガ

○黒田政府委員 今回ノ改正ハ今マデ現行ノ分類ニ於テ一ツノ所ニ置イタモノヲ分チテ税率ヲ掛ケタモノモアリマス、サウ云フモノハ何方ガドレ位ニナルカト云フコトハ不明デアリマスカラ、サウ云フモノニハ大體ノ見込デ

平均ヲ取ッテ居リマス

○堀切委員 今回ノ税率改正ノ結果現行税率ニ比シテ、是ハ總括的ニ何割増シタ、何分増シタト云フ御計算アリマスガ

○黒田政府委員 ソレハ一寸出シテ居リマセヌ——全體ノ數字ヲ出シテ居リマセヌガ、出セバ出セルト思ヒマス

○堀切委員 次ニ税率改正ニ依ル外國品ノ消費減、大正十五年度ニ於テ九分強、之ヲ見込デ更ニ見越輸入一割減ヲ、大正十五年度ニ於テ見込デ居リマス、所ガ十六年度ニ於キマシテ税率改正ニ依ル外國品ノ消費減一割一分ヲ見込デ、十五年ニ於テ消費減ヲ僅ニ九分シカ見込デナイ、十六年ニナッテ一割一分ヲ餘計ニ見積ッテ居ルノハドウ云フ譯デアリマスガ、詰リ關稅ガ引上ニナッタ當時ハ從來ニ比シテ値が高クナルカラ、消費減ガ餘計ニ生ジテ來ル筈ト思ヒマス、次年度カラ段々舊ノ習慣性ニ回復シテ高クナルコトヲ意トセズシテ消費スル、詰リ消費減ヲ段々減ラシテ見積ルノガ當然ト思ヒマスガ、ソレヲ十五年度ヨリ十六年度ニ消費減ヲ餘計見積タノハドウ云フ譯デアリマスガ

○黒田政府委員 十五年度ノ見込ト致シマシテハ、只今御述ノヤウニ好マシクアリマセヌケレドモ、サウ云フ事モ起ラウカト思ヒマシテ、ソレヲ見込ミマシタ、其爲ニ稅ノ上ツタヤウナモノニ付テ、見込輸入ヲ引イタ其殘リノモノニ付テノ十五年度ハ消費減ニナルカ

ラ、十六年度ノ比較トハ基本ニ於テ違フト思ヒマス、ソレ故ニ茲ニ差ガ生ジテ參ルノデアリマス、ソレカラ段々消費ガ回復シテ來ルデハナイカト云フ御意見ハ御尤デアリマスガ、物ニ依テハ左様ナモノモアリマスケレドモ、物ニ依テ漸次内地ニ於テ生産ガ殖エテ來ル結果、十五年ノ引上當時ニ於キマシテマダ生産ガ十分ニ出來ナイモノガ、十六年度頃ニナッテ生産ガ殖エテ幾ラカ減ルモノモアラウト思ヒマス、此關係ガ主トシテ見越輸入ノ關係デ、相當ナルモノガ這入ッテ居ル爲ニ、其殘リニ付テ十五年度ヲ見ルカラ、十五年度ノ基本ハ十六年度ノ基本ト違フト云フ關係カラサウ云フ割合ガ出來マス

○堀切委員 見越輸入ヲ見タカラト云フコトデアリマスガ、見越輸入ノ爲ニ生ズルモノガ十五年度ニ於テ千四百五十萬圓、一割一分強ニナッテ居リマス、昨年ハ二十五億圓ノ一割、二億五千萬圓ト云フ、斯様ニ餘計ナ見越輸入デアリマスガ、殊ニ今回ノ改正案ハ此案ガ成立スルト同時ニ實施サレテ、税率ノ賦課ニ付テハ除外例ヲ認メヌヤウニナッテ居ルヤウニ大臣ノ御説明デアリマスガ、殊ニ此爲替關係ナドマダ——不利ノ狀態ニ在ル今日、見越輸入ノ多少ハアリマセウガ、一割一分、約二億六、七千萬圓モアラウトハ、チット餘計過ギヤシナイカト思ヒマス

○黒田政府委員 是ハ全ク見込デアリ

マスカラ、確タル根據ハ持チマセヌ、併ナガラ本案ヲ提出サレマシテカラ二箇月餘ノ期間ガアリマスカラ、好マシイコトデアリマセヌガ自然幾分ノ輸入ガアルコトダラウト云フ考ヲ以テマシテ、税率ノ引上リノ多イモノニ付キマシテ、多少ノ見込ヲ立テマシタ次第デ、全クノ見込デアリマスカラ、勿論確タル數字上ノ根據ハナイノデアリマス

○堀切委員 全ク御見込ダト申シマス、私共モ斯ウ云フ見込ダト云フ全然違ッタ數字ヲ擧ゲナケレバナラヌガ、ソレデハ互ニ水掛論ニナリマスガ、此前ノ四十三三年ノ税率改正ノ當時、見越輸入ガドレ程アツタカ、消費減ガドレ程アツタカ、前回改正ノアノ前後ノ見越輸入ノ關係ハ、非常ニ此際參考ニナルト思ヒマスノデ、此統計ヲ一ツ頂戴シタイト思ヒマス

○黒田政府委員 前回ノ改正ハ御承知ノ通り、一年有餘ノ期間ガアツタノデアリマス、四十三三年ノ四月ニ公布サレマシテ、施行ヲ致サレマシタノハ四十四年ノ七月十七日デアリマシテ、一年有餘ノ期間ガアリマシタガ爲ニ、見越輸入トシテ如何ニ認メテ宜イト云フ計算ガ取レナイノデアリマス、ダラ——這入ッテ來マスト、其爲ニ——今回モ參行ニシヤウト調査ヲ試ミマシタガ、之ヲ見出スコトハ極メテ困難デ出來ナイノデアリマス

○堀切委員 假令一年間ニシテモ、兎ニ角其間ニ何等カノ變化ガアッタニ相違ナイデアラウ、輸出入ノ關係ナドニ於テモ、是ガ關稅ニ付テハドウナッタカ、餘程是ハ今回ノ參考ニナルダラウト思ヒマスガ、當局ハ之ヲ十分ニ御認メニナツテモ、兎ニ角吾々ハ之ヲ參考ニ供シ得ルト考ヘマスカラ、當時ノ輸入額或ハ見越輸入ニ依ルモノ、依ラザルモノト云フ大體ノ所デ宜シウゴザイマスガ、此統計モ頂戴シタイ、同時ニ是ダケノモノヲ吾々ハ審議スルニ方ツテ、殊ニ營業者デナイ吾々デアリマス、寧ロ公平ノ態度ニ立ツテ此審議ヲ致サウトスルノデアリマスカラ、有ユル統計材料、參考材料等ヲ手ニ致シタイノデアリマス、是ハ當然何處ノ國デ關稅改正ヲヤル際ニモ、非常ニ統計材料ヲ基礎トシ、之ヲ極メテ眞面目ニ論究致スノデアリマス、甚ダ御迷惑デアルカモ知レマセヌガ、大藏當局、商工及農林當局等ニ對シテ、必要ト感ズルモノハ今後モ請求致シマスニ依テ、出來ルダケ之ヲ御渡シニナラムコトヲ委員長ヨリ一ツ御話ヲ願ヒマス

○加藤委員長 今ノ堀切君ノ要求ハ成ベク御容レヲ願ヒマス
○黒田政府委員 四十三年ノ改正當時ノ見越輸入ノ調ベテ、不正確デアッテモ出セト云フコトデアリマス、當時ノ輸入額ノ對照表ハ勿論差上ゲマスガ、其中ノ見越輸入ガドレ程アッタカト云フ

コトハ、先程申上ゲマシタ通り、一年以上ノ施行期間ガアッタノデアリマスカラ、此中カラ見越輸入ガドレダケアルカト云フコトヲ見出スノハ、到底出來ナイ仕事ダト考ヘマス、ソレヲ見込ンデ出セト云フコトハ、ドウモ遺憾ナガラ御求メニ應ズルコトハ困難ダト思ヒマス

○奥村委員 私ハ稅番三百一ノ毛織物、毛綿交織物ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマス、此問題ニ付キマシテ御尋スル前ニ大體トシテ承ツテ置キタイノハ、内地ノ産業ヲ保護スル意味ニ於テ關稅率ノ改正ヲ行ツタ、併ナガラ大藏大臣ガ本案ヲ本會議ニ提案サレタ所ノ理由ト致サレマシテ説明セラレル通リ、或ハ本委員會ニ於キマシテ、大藏大臣ガ本月ノ四日堀切君ノ質問ニ答ヘテ居ラレマス所ニ依リマス、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレマス、「外國品ガ原價ヲ下ゲテ參リマス、日本ノ關稅ガ増ス、ソレヲ負擔スルト云フト、ソレダケ日本ノ内地ニ於テ高ク賣ラナケレバナラヌ、高ク賣ルト云フト消費ガ減ル虞ガアルカラト云フ」ノデ、外國ノ製造會社ガ勉強致シマシテ、生産費ヲ減ジテ來ル場合ガアル、サウスルト關稅ノ收入ハアリマシテモ、原價ガソレダケ下ツテ參リマスカラ、内地ニ於ケル所ノ其物價ハ上ラナイト云フ場合ガ、是ハ往々ニシテアリ得ルノデアリマス、斯ウ御答ニナツテ居ルノデアリマスガ、幸

ヒ大藏當局ガ御居デニナリマスカラ御同致シマス、此「上ラナイト云フ場合ガ、是ハ往々ニシテアリ得ルノデアリマス」ト答ヘテ居ラレマスガ、此時期ト云フモノニ依テ、一時的ノ現象ガアツテハ、此關稅問題ニ對シテ審議ヲ進メル上ニ於テ、私非常ニ不安ニ思フノデアリマスガ、大臣ガ斯ウ答ヘテ居ラレマスガ、大藏當局ノ方ニハ、是ハ一時的の現象ガナク、相當ノ期間アルモノデアアルカドウカト云フコトニ付テ、如何ナル御考ヲ持ツテ御出ニナリマスカ、一寸御同致シタイ

○黒田政府委員 只今御述ニナリマシタ過日大藏大臣ノ答辯致サレマシタコトニ付テハ、是ハサウ云フ場合モアルト云フコトデ、大藏大臣ガ御答辯ニナツタコトト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ場合ガアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ外國品ガ日本ニ於テ生産ガ無イトカ、或ハ日本ニ於テ對抗スルダケノ力ガナイ、生産ガ極メテ微々タルモノト云フ場合ニ於キマシテハ、外國ハ日本ニ物ヲ賣リマス上ニ於テ、相當ノ價額ヲ以テ賣ツテモ賣ラレルト云フ場合ニ於キマシテ、相當ノ値段ヲ以テ賣ツテ參ルノデアリマス、ソレデモ日本デハ必要上買ハナケレバナラヌト云フコトデ、取引ガ出來ルノデアリマス、然ルニ日本ニ於テ工業ガ起ツテ來ル、關稅ガ上ツテ消費者ノ負擔ガ増シテ來ルト云フコトノ爲ニ、内地ニ於テノ消費ガ

減ズル、隨テ外國品ヲ内地ニ賣リマスノニ、其賣込ニ影響シテ來ルト云フコトニナリマス、ト云フト、外國品ガ前ニ獨占的ノ價格ヲ以テ賣ツテ居タモノガ、其價格ヲ引下ゲテ來ルト云フコトハ、是ハ往々アルノデアリマシテ、其結果價格ハ一時的デナク、將來ソレ等ノ引下ツタ價格デ以テ賣ツテ來ラレルト云フコトガ起リ得ルノデアリマス、勿論向フノ生産費ヲ元ヲ切ツテ賣ツテ居リマスモノデアリマスレバ、一時的ノ「ダンピング」ノ形デ、内地ノ産業ヲ破壊スル、潰スト云フ目的デ來マス場合ニハ、其目的ヲ達スルマデ下ゲテ參ルト云フコトモアリマス、併シ今御述ニナツタヤウナ場合モ、即チ獨占的ニ相當ノ儲ケヲシテ居タモノガ、多少其儲ケヲ減ジテ、關稅ノ上ツタモノダケ引イテ、尙ホ向フニ儲ケガアリマス、ナラバ、其價格ヲ以テ將來取引シ得ルト云フコトモアラウト考ヘマス

○奥村委員 今御丁寧ニ御説明下サレタノデ、其點ハ分リマシタノデアリマスガ、從來此關稅ヲ引上ゲラレル時ニ當リマシテ、商人ガ見越輸入ナドヲ致シマシテ、其結果供給過多ニ陥ツテ、サウシテ時折リ豫想ニ反シタル相場ヲ下落スルコトガアルノデアリマス、サウ云フ場合ノヤウニ、今私ハ此往々アルト云フ濱口大藏大臣ノ説明ヲ解釋シテ居リマシタノデアリマス、ケレドモ、尙ホサウ云フ方面デナク、今黒田主

稅局長ノ御説明ニ依テ、尙ホ他ノ理由モ了解致シテ、洵ニ此點ハ御禮ヲ申ス外ハアリマセヌガ、尙ホ斯ウ云フコトヲ御尋致シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ハ社會政策ト云フコトヲ本會議ニモ言ハレ、又此委員會ニモ言ウテ居ラレテ、社會政策トハ多數ノ人ノ爲ニ利福増進ヲ圖ル政策デアルト、斯ウ云フ意味ニ仰シヤッタノデアリマスガ、サウ致シマスルト、此三百一番ニ對シマシテ、大臣ハ左様ニ御説明ニ相成ッタノデアリマスルガ、是カラ私ノ御尋スル所ノコトハ、或ハ商工省ニ關係ガ有ルカト思フノデアリマスルガ、商工省ノ方ニ於カセラレテハ、矢張社會政策ヲ根本トシテ今回ノ稅率改正ニ對シテ御審議相成ッタモノデアリマセウカ、其點ヲ尙ホ甚ダ御面倒デスケレドモ、御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○榎瀨政府委員 此稅率ヲ盛ルニ付テ、一般需要者ノ側ニ屬スル方面、即チ社會政策ノ事柄ヲ考慮シタカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、無論考慮致シマシタ、無論考慮致シマシタガ、若シ理想ヲ以テ申シマスナラバ、モウ多クノ物ハ無稅ニ致スト云フコトガ一番需要者ノ爲ニハ便宜デアリマスケレドモ、併シソレハ唯一時ノ事柄デアツテ、若シサウ云フ開放的ノ遣方ヲ致シマススト云フト、一時ハソレガ爲ニ此物價ガ或品物ニ付テハ下ルト云フコトガアルカモ知レマセヌ、併シ之ヲ唯外國品ノ今度

ハ自由ニ左右スル所トナツテ、將來ハ却テソレガ爲ニ日本ノ需要ト云フモノガ騰貴ヲ致ス、斯ウ云フ傾向ヲ有ツト云フコトニ至ルト云フコトヲ俱レマスカラ、ドウシテモ相當ノ期間ハ保護政策ヲ執ツテ、其基礎ノ確立スルニ至ルマデハ、需要者ニ對シテモ若干ノ犧牲ヲ拂ッテ貰フコトハ已ムヲ得ナイモノデアアル、斯ウ云フ趣意デ其間ヲ調節致シテ能ク慎重審議ヲ致シマシテ、双方ノ爲ニ便宜ヲ圖ツテ稅率ヲ盛ッタヤウナ次第デアリマス

○奧村委員 只今政務官閣下カラ御説明ヲ承リマシテ了解ヲ致シタノデアリマスガ、サウ致シマスルト此委員會ノ第四回ニ於テ、二月五日是亦堀切サンノ質問ニ濱口大藏大臣ガ答ヘテ居ラレ、其點ヲ一寸讀ンデ見マスルト、「御質問デアリマスガ、一例ヲ申シマス、毛織物ノ一部デアリマス、御承知ノ通り此毛織物ハ毛織物トシテ成立ッテ居リマスガ、ソレハ主トシテ厚地ノ方、即チ上等品デナイ方ガ成立ッテ居リマス、所デ薄地ノ方、上等品ノ方ハマダ成立ッテ居ラヌ、併シ毛織物全體トシテハ成立ッテ居ルノデ、此度相當保護ヲ加ヘマスレバ、全體トシテハ發達ヲシテ居ルガ、一部マダ發達ノ程度ニ達シテ居ナイモノマデモ、是マデ成立ッテ居ルモノト同様ニ成立ノ見込アルモノニ對シテハ、相當ノ保護ヲ加ヘテモ宜カラウト、斯ウ云フ趣意デ

アリマス」ソレデ此薄イ方、上等品ノ方ハマダ成立シテ居ラヌ、斯ウ述べテ居ラレルガ、是ハドレヲ指シテ居ラレルノカ御伺致シタイ

○黑田政府委員 只今御讀ミニナリマシタ大藏大臣ノ御答辯ノ御趣旨ハ、大體斯ウ云フ風ナ御趣旨デハナカッタカト考ヘルノデアリマス、即チ其時ニ大臣ノ述べラレタ趣旨ハ、今起テナイモノニ對シテ保護ノ稅率ヲ盛ルト云フコトハ、ドウ云フコトデアアルカト云フ風ナ御質問ニ對シテ、色ミナ例ヲ舉ゲラレマシタ、其中ノ一ツデアラウカト思ヒマスルガ、其時ニ他ノ例モ御舉ゲニナリマシタガ、毛織物ニ付キマシテ述べラレマシタ趣旨ハ、毛織物ノ中ニ於キマシテ薄地ノモノ即チ甲ノ(イ)ノ如キ「モスリン」等ノ薄地ノモノニ付テハ、既ニ十分ニ發達ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、其他ノ織物ニ付キマシテハ、厚地ノモノガ、例ヘバ此甲ノ方ニ於キマスレバ(二)デアリマスルトカ、或ハ乙ノ方ノ(ハ)ニ云フヤウナ風ノ、主トシテ厚地ノ方ガ先ヅ日本ニ於キマシテハ相當ニ發達ヲシテ來テ居ル、併ナガラ尙ホソレデハ毛織物全體ニ對シテ、全體ガ十分ニ發達ヲシテ居ルト云フコトハ言ヘナイ、毛織物ニ於キマシテハ其消費モ非常ニ殖エテ來ル、内地デ以テドウシテモ生産ヲ起シテ行クト云フコトガ、産業ノ上カラ見マシテモ必要デアアル、或ハ色ミナ軍事

ニ使ハレマスル國防ノ上カラ見マシテモ必要ナコトデアアル、ソレ故ニ全體トシテ發達ヲスルコトガ宜シイノデアアルガ、今ノ所主トシテ發達ヲシテ居ルハ、厚地ノ、殊ニ毛綿織物ノ厚地ト云フ風ナモノガ多イノデアアルカラ、是等ノモノニ對シテ適當ナ保護ヲ加ヘテ、ソレ等ノモノガ勿論十分ニ發達シマスルト同時ニ、此未ダ生産ノ比較的少イ——勿論無イノデハアリマセヌガ、少イ所ノソレヨリモ薄イ品物ニ付キマシテ、或ハ(ロ)トカ(ハ)トカ云フモノニ付キマシテモ、十分ニ發達ヲシテ行クト云フコトハ尙將來ノコトニ屬スルト云フ意味デ、マダ毛織物全體トシテ、完全ナル發達トシテ、總テノモノニ對シテ發達トハ見ラレナイ、他ノモノハ外國品ニ仰グコトガ多イ、併シ厚イモノニ付テ見ルト云フト、約半バ位モ內國デ以テ——需要ノ約半分弱位ノ生産ハ內地デモアルノデアリマスカラ、他ノモノニ比較シテ見ルト、多少生産ガ多ク發達シテ居ルノデアリマスガ、全體トシテ尙ホ十分デハナイト云フ風ナ意味デ御述ニナツタコト考ヘテ居ルノデアリマス

○奧村委員 只今政府委員ノ御答辯ニ依リマススト云フト、私ノ質問シタノハ薄地ノ方、上等品ノ方ハマダ成立シテ居ラヌト云フ風ニ大臣ガ言ハレタノデアリマスガ、今主稅局長ノ御説明ニ依リマススト云フト、主ニ三百一ノ甲ノ方

「ロ」ト「ハ」ニ對シテノ、或ハ乙ノ「ハ」ニ對シテノ御答ノヤウニ思フタノデアリマスガ、私ハ此「ロ」ト「ハ」ト云フモノハ何レモ目方ヲ定メテアルノデアリマスカラ、二百瓦カラ五百瓦ノ間二百瓦カラ矢張毛綿製ノ方ニ於テモ五百瓦ノ間ノ問題デアリマシテ、一般消費者ノ爲ニ考慮シテアルト云フコトガ原則ノヤウニモ御説明ニ相成ッテ居リマス、サウスルト云フト甲ノ方ノ毛製ノモノモ、「ニ」ノ方百瓦ヲ超エザルモノハ「モスリン」デアアル、二百瓦ヲ超エザルモノハ是ハ夏ノ極メテ薄地ノヤウニ聞エテ居ルノデアリマスガ、所ガ其政府ノ今御説明ニナリマシタ甲ノ方ノ「ニ」、即チ其他是ハ五百瓦以上ノモノデアリマスガ、五百瓦以上ノモノガ日本ニ相當生産ガアルヤウニ御話デアッタガ、是ハ私消費ノ方ヲ御尋シテ見タイト思ヒマス、此甲ノ「ニ」ノ日本ノ消費額ハドンナモノデアアルカト云フコトヲ御伺シタイ

○大山商工技師 御答致シマスガ、御承知ノヤウニ毛織物ノ整理分類ト致シマシテモ、毛製ノモノト毛綿製ノモノト分ツテ居リマスガ、毛織物ハ綿ガ僅ニ入りマシテモ、純毛ノモノト毛綿製ノモノト區分ガ甚ダ容易ニ付キ難イモノデアアル、サウ云フ風ニ品物ノ性質ガナツテ居ルノ内地生産狀況等ノ生産額ヲ調ベマス上ニ於テモ、毛綿製ト毛製ノモノト、ビシト分類ヲシテ統計ヲト

ルコトガ容易デアリマセヌ關係上、純毛物ノ甲ノ方ノ「ニ」ニ屬スルモノノ消費額ガ幾ラカト云フコトニ付テ、ビシトシタ數字ノニ申上ゲルコトハ甚ダ困難ナノデアリマス、輸入額ノ方ハ稅表ガ區分サレテ居リマス、爲ニ明ニナツテ居リマスガ、生産額ノ方ガ分リマセヌノデ、大體ノ豫想デアリマスト調ベラレスコトモアリマセヌガ、キチツシタ數デ申上ゲルコトハ出來マセヌ、兎ニ角甲ト乙ト合セマシタモノデノ總計デシテモ判然ト此二百「グラム」以上トカ或ハ五百「グラム」以下ト云フヤウナ所デ、内地生産ガ統計ハ取レテ居リマセヌノデ、大體ニ羅紗、セル「縐子」ト云フヤウナ區分デ羅紗ニ屬シマスルノガ、先ヅ五百「グラム」二百「グラム」以上ノモノト云フコトガ言ヒ得ルト思フノデアリマシテ、サウシマス云フト、「ハ」ト「ニ」ノ區分ガハッキリ致シテ居リマセヌ、其點ハ豫メ御承知置キテ願ヒマシテ、羅紗ト云フモノニ屬シマスル分ト致シマシテモ、消費額ハ羅紗幅ニ直シマシテ申上ゲルト云フト、大正十一年ガ千八百三十萬「ヤール」、十二年ガ約千九百二十萬「ヤール」許リニナリマス、ソレハ甲ト乙ト併セマシテ、更ニ又「ハ」ト「ニ」ト併サツタモノノ數ト御承知ヲ願ヒマス

○奧村委員 輸入數量デスカ
○大山商工技師 需要數量デス、生産額ト輸入額ト兩方併セタモノデアリマス
○奧村委員 尙ホ御伺致シタイノデアリマスガ、日本ノ毛織物業ハ今回改正ニナツタ改正表ニアル所ノ稅率ニ依テ保護ノ目的ヲ達シ得ルト御覽ニナツテ居ルノデアアルカ、又御判斷ニ相成ルノニ付テ輸入額ニ對スル所ノ御見解ハドウナツテ居ルカ、此點ヲ一ツ承リタイ
○宮内政府委員 大體ノ毛織物ノ關稅ヲ盛リマス上ニ於キマシテ、當局ト致シマシテ考ヘテ居リマシタ點ハ、先程カラ問題ニナツテ居リマス厚地羅紗、「セル」縐子ト云フモノデアアルノデゴザイマス、此程度デ日本ノ毛織物業ガ確立スルヤ否ヤト云フ御尋ト拜承致シマシタガ……
○奧村委員 サウシテ輸入品ガ此本邦ノ工業ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトモ御考慮相成ッテ、改正率ヲ御出シニナツタノカ、輸入品ハ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトモ、無論御考慮ニ相成ッタカ此點ヲ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ
○宮内政府委員 ソレデハ寧ロ全體ト致シマシテ、是モ問題ニモナツテ居リマスシ、政府ト致シマシテ本案ヲ提出致シマスルニ際シテ考ヘテ居リマス所ヲ申述ベヤウト思ヒマス、大體ニ厚地羅紗「セル」縐子ニ付テ申上ゲマス、申上ゲル迄モナク本邦ノ——本邦許リデアリマセヌガ、毛織物工業ハ纖維工業ノ中デ最モ技術ガ困難ナモノデアアルノデアリマス、サウ致シマシテ我國ニ於キマシテハ綿、絹、麻、是等ノ工業ニ付キマシテハ、古來ヨリ存在シテ居ル工業デゴザイマスガ故ニ、其技術ニ於キマシテ慣レテ居ルノデゴザイマスクレドモ、獨リ毛織物ニ於キマシテハ發達ガ日ガ淺イノデゴザイマスカラシテ、上級ノ技術者カラ下級ノ職工ニ至リマスマデ、技術ニ熟練シテ居ル者ガ甚ダ少イノデアリマス、又原料ニ致シマシテ毛種類ガ澤山ゴザイマス、又製品ニ致シマシテモ其製品ノ種類ガ非常ニ多イノデゴザイマス、サウシテ將來ニ於テ趨勢ハ如何デアアルカト申シマス、内地ニ於テノ需要ハ益増加セントスル趨勢ニ在ルノデゴザイマス、而シテ又永イ將來ヲ申上ゲマスレバ、將來ニ於テ是ガ重要輸出品タルベキ素質ヲ有ッテ居ルト云フコトニ付キマシテモ、殆ド疑フノ餘地ガナイノデアリマス、一面ニ於キマシテハ、又軍需工業上重要ナル種類ニ屬シテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ、産業上、國防上、最重要ナル工業ノ一ツデアリマシテ、或ル程度ニ至リマスマデハ、是ガ保護助成ヲ致シテ完全圓滿ナル發達ヲ期スルコトハ最モ重要ナ事ト考ヘテ居リマス、然ルニ一面ニ於キマシテ、此點ハ先程ノ御尋ノ點ニ觸レルト考ヘマスガ、厚地羅紗類ガ今日ドウ云フ情勢ニ在ルカト申シマスレバ、海外品ニ壓迫セラ

レテ居リマス、而シテ或ル我國ノ工業會社ノ中ニハ——或ル會社バカリデハアリマセヌケレドモ、一般ニ海外ノ製品ニ壓迫セラレテ、操業ノ繼續ヲ最モ困難トナル立場ニ在ルノデアリマス、是ハ如何ナル理由デアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、要スルニ各般ノ方面ニ向ッテ其理由ガアリマス、第一ニ生産ノ方面ニ付テ考ヘテ見マスト、毛織物ハ其原料ヲ全然海外ニ仰ガナクチャナラヌト云フ事情ニ在ルノデアリマス、而シテ一箇年分ノ原料ヲ買付ケテ置カナクチャナラヌト云フ不利益ガゴザイマス、即チ資金ヲ長ク固定セシメテ置クト云フ不利益ガゴザイマス、又隨時ニ原料ヲ取得スルコトガ出來ナイト云フ不利益ガゴザイマス、殊ニ此一般需要ガ廣汎デアリマシテ、大量生産主義ノ工場組織ニ適應シテ居ル所ノ、厚地羅紗類ニ付キマシテハ、其主要原料トシテ居ル所ノ反毛及「ノイル」等ニ於キマシテ、其原料ノ供給ガ拂シシク行カナインデゴザイマス、而シテ又其取引ニ付キマシテモ、嚴格ヲ缺イテ居ルト云フ事情ガアリマス、尙ホ生産ノ技術ニ付テノ事デアリマスガ、厚地ノモノハ薄地ノモノト異リマシテ、其技術ニ於テ非常ニ困難デゴザイマス、ト申シマスノハ、各種ノ原料ヲ調合致シマシタモノヲ紡績致シマスル際ニ於テ、更ニ仕上ノ上ニ於キマシテ最モ技術ガ困難ヲ極メ、其技術ニ於キマシ

テハ、纖細ニシテ煩雜ナル手數ヲ要スルノデアリマス、此點ハ永イ間ノ歴史ヲ有シテ居リ、各種ノ分業ガ盛ニ發達シテ居ル所ノ外國ノ技術ニ比シマシテハ、我國ハマダ非常ニ遜色ガアルノデゴザイマス、ソレデスカラ原料ノ點カラ見マシテモ、一般ノ外國品ニ比シテハ優良ナ原料ヲ使フト云フコトガ少ク、ソレガ生産ノ點ニ於テ最モ困難トシテ居ル點デアリマス、更ニ取引ノ點カラ考ヘテ見マスルト、英國ノ如キハ世界的市場ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ商品ノ取引上ニ於テ左右セラルルコトニナリ、殊ニ各種ノ分業ガ發達シテ居ル外國ノ製品ニ左右セラレルト云フ狀況デゴザイマス、尙ホ取引ノ方面ニ付キマシテハ、羅紗ノ輸入商ハ長期ノ手形ヲ以テ買付ラスル、長イ賣掛ヲシテ羅紗ヲ取得スルト云フ便宜ガゴザイマス、即チ關稅ト運賃ノミノ極ク少額ノ資金ヲ持チマシテ、大量ノ羅紗ヲ買フコトガ出來ルト云フ便宜ガアリマスノデ、此點ニ付キマシテモ、矢張外國品ニ脅威セラルルコトガアリマス、次ニ消費ノ方面カラ考ヘテ見マスルト、是モ多年舶來品使用ニ慣熟シ、國民ハ舶來品トシテソレヲ尊重シ、舶來品トシテソレヲ歡迎シ、內國品ヲ歡迎シナイト云フ嫌ガアリマス、此點ニ付テモ外國品ハ餘程ノ便利ナ立場ニナツテ居ル、斯様ニ各種ノ生産ノ點、取引ノ點、消費ノ點カラ見マシテ、我國ノ厚地

織物ハ今日非常ナ不況ニ在ルノデアリマス、又一面カラ考ヘテ見マスルト、毛織物工業ハ機械工業デゴザイマスノデ、其基礎ヲ安固ニ致シ、其投資ヲ容易ニスルト云フコトデアリマセヌケレバ、資本ノ固定ガ多イノデアリマスカラ、之ニ對シテ其振興ヲ期セントスルノニハ、ドウシテモ其基礎ヲ安固ニスルコトガ必要ナノデアリマス、左様ナ方面カラ考ヘマシテ、大體ヲ見マシテ厚地織物ニ付テハ約二割見當ノ稅ヲ盛ッテ居ルノデゴザイマス、然ラバ此二割見當ノ稅ヲ以テ、我國ノ工業ガ確實ニナルヤト云フコトデアリマスガ、ソレハ或ハ二割デハ少々足ラヌカモ知ラヌト云フ懸念モアリマス、併ナガラ大藏大臣ヨリモ度々言明ガアル通り、一面社會政策モ加味シナケレバナラヌノデ、其方面カラモ餘程考慮ヲ致シマシテ、所謂其程度デ保護ヲ致シマシタナラバ、相當確實ニナルデアラウ、斯様ニ認メテ居ルノデゴザイマス、之ニ依テ外國品ガドノ位防遏スルコトガ出來ルカト云フ最後ノ點ハ、約半數位ハ先ヅ之ヲ抑壓シテ、漸次ニ進ンデ行クコトガ出來ルノデハナイカト云フ考ガ致シマス、要スルニ此程度ノ保護ヲ以テ忍ブベク、此程度ノ保護ヲ以テ工業ヲ確實ニスベシ、斯様ニ信ジマシタ、尙ホ毛織物工業ニ付キマシテハ、國產獎勵等ノ事モアリマスノデ、關稅政策ガ殆ド唯一ノ政策デアリマスノデ、而シテ產

業方面、軍需方面カラ顧ミマシテ、最モ必要ナコトデアリマスカラ、特ニ重キヲ置イテ居ル次第デゴザイマス
○與村委員 只今當局ノ御説明ニ依ルト、毛織物ハ非常ニ技術ガ困難デアル、而シテ厚物ガ非常ニ困難デアル、然ルニ日本ノ狀態ハ厚物ガ發達シテ居ルト云フコトヲ先程モ聞キ、國務大臣ノ説明ニモアリマシタ、又當業者カラ私ハ聞イテ居リマスガ、薄物ハ此委員會ニオ居デニナル皆サンガ、大部分常用シテ居ラレル服地、是ガ日本デ非常ニ困難デアル、是ハ織物業者モ言ウテ居リマス、然ルニソレハ御説明ニ依ルト、其方ガ樂ナヤウナ話デアル、併シ此技術ノ問題ハ別ノ問題デアリマス故ニ、今日關稅ヲ引上ゲタトテモ、此技術ハ進歩スルヤウニ私ハ思ヘナイ、寧ろ荒風ニ當テテ置イタ方ガ、自然淘汰ノ關係上技術ガ益進歩スルモノデアルガ、國家トシテサウ云フ放任主義ハイカスト云フコトナラバ、技術ノ方ニ於テ十分政府ニ於テ心配シナケレバナラヌト思フ、是ハ愛知縣ノ津島ニ片岡織物會社ガアリマスガ、其會社ハ、毛紡機ヲ持ッテ居リマセヌ、小サイ會社デハアリマスケレドモ、自己ノ加工ニ依リマシテ、艶出シトカ、或ハ製品ヲ整理スル上ニ於テ、他ノ會社ヨリモ優レタ技術ヲ有ッテ居ッテ、其會社ヲ維持シテ居ル、是ハ技術ガ至難デアルト仰シヤタケレドモ、正シク裏書ヲシテ居ル、私ハ政府ハ

技術ト云フコトニ付テ御獎勵ナサル方
ガ宜カラウト思フ、ソレト同時ニ又資
金ノ問題ヲ御話ニナリマシタガ、日本
ノ織物業者ハ資金ヲ澤山要スルガ、輸
入業者ハ極メテ少イモノデ資金ガ廻
テ行クト云フ御話デアル、或ハサウ云
ラ人ガアルカモ知レマセヌケレドモ、
輸入品ヲ扱フ所ノ商店ハ、大正十二年
九月ノ震災ノ影響上、正金銀行ガ信用
狀ヲ出スコトヲ非常ニ警戒シテ居ル
デ、全國ノ輸入商デ信用狀ヲ出シテ貰
テ居ル者ハ極メテ僅カデアル、又之ニ
致シテモ今夏物ヲ注文スル、一年二遍
資金ガ回轉スルヤウナ形ニナッテ居ル
ケレドモ、到著シタモノヲ販賣スル上ニ
於テハ、矢張相當資金モ要ルノデアル、
資金ノ上ニ於テモ困ルト云フコトナラ
バ、國家ノ見地カラシテモ、此織物業者
ニ對シテハ政府ハ他ノ主要物產ト同ジ
ヤウニ、資金ノ供給ヲ圖ルベク御考ニ
ナッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、而シテ
又外國品ノ壓迫ヲ内地ノ織物業者ガ受
ケテ居ルト云フ御話デアルガ、其壓迫
ヲ受ケテ居ルト云フ會社名ヲ御示シ
願ヒタイ、ソレカラ私ガ今御尋シタノ
ハ日本ノ現行率タル國稅率ト、ソレカ
ラ昨年三月十日ヲ以テ協定稅率ガ滿期
ニナッテ國定稅率ニ復シタ、サウナルト
輸入ノ上ニ於テモ非常ナ差額ヲ示シ
居ル、先達私ハ政府ニ向ッテ要求ヲシ、
今月ノ八日ニ其材料ヲ得タノデアリマ
スガ、ソレヲ謄寫版ニシテ昨日同僚諸

君ノ御手許ニ出シテ置イタ次第デアリ
マスガ、之ヲ以テモ、十二對スル五ノ増
額ニナッタモノモアリマス、故ニ他ニ影
響ヲ及ボシテ居ナイ、併ナガラ十三
年十四年ト大シタ開キガナイト云フコ
トハ昨年ノ三月協定稅率ガ無クナルト
云フコトデ、輸入見越ヲシタノデ、總體
トシテハサウ云フ風ニナッテ居リマス
ケレドモ、協定稅率カラ國定稅率ニナ
タカラ、國定稅率ハ相當輸入ヲ制限シ
テ、政府モ其目的ヲ達シツアルモノ
ト考ヘテ居リマス、併シ國定稅率ノ行
ハレタト云フノハ、只今ノ冬物ニ對シ
テ一回行ハレタダケデアル、一般ノ消
費者ニ行フ時ニハドウナルカト云フ
ト、總テ輸入物ニ對シテハ、協定稅率カ
ラ計算ヲ致シテ居ルト云フト倍ニナ
テ居ルト云フ形ニナッテ居ル、是程ニ保
護シナクテハナラヌト云フ會社ガ幾ツ
アルカ、其事業ノ狀態ヲ一ツ御示シ
願ヒタイ、合セテ一般消費者ニ斯ウ云
フ影響ヲ與ヘルニモ拘ラズ、其少數ノ
會社ニ對シテ保護ヲシタ方ガ、國家ノ
産業ノ見地カラ宜シイト云フ御考デア
ルカドウカト云フコトモ御伺シタイ、
ソレカラモウ一ツハ軍需品ト云フコト
ニ付テ、先程モ屢御述ニナッテ、大正七
八年ノ頃ニ輸入杜絶ノ形ニナッテ居ル、
既往ニ於テ日本ノ製織率、此生産高ト
云フモノハ、優ニ露西亞ノ中ノ西伯利
支那ニ相當ノ輸出ヲシタト云フコトハ
明カデアル、而シテ其用事ノ際云々ト

云フコトニナリマスレバ、根本ノ問題
デ原料タル羊毛ヲ如何ニシテ得ルカト
云フコトガ、根本ノ問題デハナカラウカ
ト思フノデアリマス、政府ノ今軍需品
ニ名ヲ藉リテ、サウシテ内地ノ會社ヲ
擁護スルト云フ、事業會社ヲ擁護スル
ヤウナ結果ニ陷ル、サウスルト多數ノ
消費者タルモノニ對シテ犧牲ヲ負ハシ
テ、少數ノ會社ヲ擁護スルト云フヤウ
ナコトニナリハシナイカ、此點ニ付テ
ハ昨年ノ十月十一月ニ於テ、憲政會本
部ニ於テ其處ニ御在デノ大山政府委員
ニ御出席ヲ願ッテ、御答ヲ願ッタクレド
モ、不幸ニシテ不得要領ニ終ッテ、私ハ
事務次官ニデモ御伺スル積リデシタ
ガ、事務次官ハ官制上此席ニ御在デニ
ナラヌノデ、私ハ甚ダ遺憾ト思ヒマス、
併ナガラ先般大山技師ニモ御願ヲシ
テ、其後御研究ヲ願ヒマシタカラ、私ノ
御伺スル點ニ御答下サルカモ知レマセ
ヌガ、内地ノ製造會社ノ社名、サウシテ
其狀態、若シ茲ニ御答ガ出來ルナラバ
直ニ御答ヲ願ヒタイ

○宮内府委員 御答致シマスガ、政
府トシテハ關稅ノ此程度ノ保護ヲ以テ
十分デアルト信ジマス、外ニ必要ハナ
イト考ヘテ居リマス、少數ノ會社ヲ補
助シテ、多數ノ消費者ニ迷惑ヲ及ボシ
ハシナイカト云フコトデアリマスガ、
少數會社ヲ補助スルトカ、サウ云フド
ノ會社ヲドウトカ云フヤウナコトヲ考
ヘテ居ルノデアリマセヌ、全體カラ見
マシテ毛織物工業ト云フ工業自體ハ見
テ居ルノデアリマス
○奧村委員 自體ヲ構成シテ居ル其數
ヲ言フノデス
○宮内府委員 只今調べガゴザイマ
スカラシテ、後程申上ゲマス、軍需品工
業ノコトデゴザイマスルガ、軍需品工
業ノコトハ平素ニ於キマシテ厚地ノ製
織ニ馴レテ居ルト言フコトガ最モ必要
ナコトデアリマシテ、軍事當局ニ於キ
マシテモ最モ重キヲ措イテ居ル次第デ
ゴザイマス、尙ホ憲政會ニ說明ニ出マ
シタ時ノ御話ガゴザイマシタケレド
モ、是ハ其當時マダ確定ヲ致シテ居リ
マセヌデシタカラ、説明ガ出來ナカッタ
ノデゴザイマシテ、當局ト致シマシテ
ハ終始其點ニ付テハ深イ注意ヲ拂ッテ
居リマス、會社名モ只今申上ゲマスガ、
只今ノ此稅率ヲ盛リマシタノハ、マダ
アルモノモゴザイマスルガ、協定ガ取
レマシタカラソレデ以テ十分デハナイ
カト云フヤウニ拜承シマシタガ、サウ
デハナイノデアリマス、是ハ一碼ニ付
キマシテ約四十錢内外ト云フモノガ、
生産費カラ見マシテ、製造者ノ方カラ
技術或ハ工場ノ生産ノ費用ノ點カラ見
マシテ、又輸入商ノ方カラ考ヘテ見マ
シテ、各種ノ方面カラ見マシテ一碼四
十錢内外ノ保護ガ必要デアル、斯様ニ
考ヘタ、要スレニ各般ノ點ヲ考慮致シ
マシテ協定ガ取レマシテ、足ラナイト
云フ考ヲ持ッタノデアリマス

○奥村委員 稅率ノ立方——算出方法ニ付キマシテハ今御説明ニ相成リマシタガ、承服ハ頗ル出來ナイノデアリマスケレドモ、是ハ私ハ討論ノ時ニ讓テ置キマスガ、只今内地ノ織物消費稅ハ織落シ其モノニ課シテ居リマスノデ、其會社ガ眞ニ織出ス所ノ値段ノ大體ヲ言ヘバ一割ニ當ラナケレバナラヌノニ、ソレガ織落シ加工ノ出來ナイ所ノ物、或ハ以前便宜上ニ協定サレタ、ドノ程度ノモノニドウト云フコトガ十年以前ニ織物會社ナドノ協定サレテ居ルノデ、百分ノ五乃至六ニ外當ラナイト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、併ナガラ輸入品ニ對シテハ沖渡——沖ニ着イタモノニ保險料其他總テノモノニ付テ、陸揚ゲスルモノニ付テモ、總テ一割ノ消費稅ヲ掛ケテ居ル、ソレ等ニ對シテハ餘程差等的ノ扱ガ出來テ居ルヤウニ私ハ思ヒマス、サウ致シマスト云フト、今日ノ現行率ノ外ニ消費稅ノ上ニ於テモサウ云フ手加減ガ入レテアルノデアアル、手加減ノ率ガ今回ノ改正率ニ含マレテ居ルカ居ラナイカ、改正率ガ行ハレントスル時ニハ、此消費稅ニ對スル協定モ改メ、實際ニ其會社ガ自分ノ門口ヲ出ス所ノ値段ニ對シテ御掛ケニナル積リデアアルカ、是ハ向後ノ爲ニ重要ナル問題デゴザイマスカラ、簡單ニ其點ヲ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ今一ツ御説ヲ承ッテ見ルト云フト、關稅一點張デ私ガ申上ゲタ資本金、或ハ

技術ノコトヲ申上ゲタノデアアルガ、ソレハ別ノ問題デアアル、關稅一點デ行クト云フヤウニ今御説明ニナッタノデアアルガ、關稅一點デ行クナドト云フコトハ到底出來ナイト云フコトヲ、他ノ政務官カラ答ニナッテ居ル、工務局長ハサウ云フ亂暴ナ御確信ガアルノデスカ、ドウデスカ、其點ヲ承リタイ、是ハ重要ナ點デアアル、關稅一點デ國產保護ノ目的ガ達セラルルカドウカ、餘程是ハ重大ナ關稅デゴザイマスカラ、明確ニ記錄ニ殘シテ置キタイカラ御答ヲ願ヒタイ

○宮内政府委員 言葉ガ少シ簡單デアッタカモ知レマセヌガ(中ニ御丁寧過ギテ居リマス)ト呼フ者アリ(無論技術ノ點ニ付キマシテハ指導モ致シマス、獎勵モヤリマス、資金ノ點ニ付キマシテモ出來得ル限りノコトハ致シマスケレドモ、併シ今日ノ場合最モ急務トスル所ハ關稅ノ改正ニアル、之ヲ以テ殆ド唯一ノ政策トシテ居ルト云フ位ニ毛織物ニ付テハ考ヘテ居ル、

「唯一ニハ殆ドト云フ冠詞ハナイジヤナイカ」ト呼フ者アリ

○矢部政府委員 消費稅ニ付キマシテハ私ハ管掌外デアリマスカラシテ、主稅局長ヲ呼ビニ參リマス間暫ク御猶豫ヲ願ヒマス

○奥村委員 ソレハ前ニ工務局長ガ言明サレマシタ、所ガ私ガ昨年ノ暮ニ憲政會本部デ大山技師ト質疑シタト云フ

コトヲ申シマシタ、其時ニハ宮内局長ノ御話ニハ、關稅率ハ未確定デアルト仰シヤッタ、勿論サウデアッタカモ知レマセヌガ、吾々ノ所ヘ公然御發表ニナッタノハ、一月十九日ニ配付サレタモノデ此率ガ分ッタノデアリマス、併ナガラ昨年ノ農商務省ガ農林省、商工省ト分レナイ、其前ノ農商務省ノ重要ナル方カラ、民間殊ニ羊毛工業會ノ連中ニ御漏シニナッタ材料ヲ私ハ不幸ニシテ持ッテ居ル、昨年ノ春ニ既ニ是ハ確定シテ居ッタモノデアアル、大山技師ガ昨年ノ暮、吾々ト會見シタ時ニ宮内局長ハ關稅率ハ確定シテ居ナカッタト云フ御話ガアッタガ、是ハ大變ナ問題デアアル、殊ニ我黨ガ支持シテ居ル現内閣ニ於テハ、綱紀ノ肅正ト云フコトニ重キヲ置イテ居ルニモ拘ラズ、昨年ノ春本員ノ手ニシタ所ノ原案ト、今回政府ガ出サレタモノニ依リマススト云フト、三百一番ノ乙ノ毛綿製ノ二ニ在ル所ノ、「其他」ト云フ中ノ査定稅率ガ今回ハ三十二圓六十錢ト出テ居ルノデアリマスケレドモ、其當時私ノ手ニシタモノハ四十圓七十錢デアッタ、他ノモノハ少シモ變ッテ居ラヌ、其時手ニシタモノガ今回出テ居ル、斯ウ云フヤウナコトデアリマスカラ、私ハ院外デハアリマスケレドモ、大山技師ガ昨年ノ暮ニ本員ト質疑ラサレタ時ニハ、既ニ確定サレテ居ッタモノト思フテ居ル、故ニ私ハ昨年ノ春手ニシタ所ノ數字ガ詳細此處ニアリマスカラ、

政府ハ今回ノ改正率ニ出サレタ所ノ算出稅率ノ基礎デアアル所ノ一ノ平均年額ヲ出サレテ居ルノガ、或ハ甲ノモノ、乙ノモノ、全部ニ對シテ其値段ノ割出シ方ヲ茲ニ御發表ニ相成リタイ

○棚瀬政府委員 今年ノ暮ニ大山技師ガ憲政會ノ政務調查會ニ於テ此事ニ對シテ、マタ稅率ガ確定シテナイ、隨テ其點ニ對シテ言明ガ出來ナイト云フトヲ申サレタト云フコトハ、是ハ當然ノ事デアリマス、當然ナ事デアリマシテ、御承知ノ通り數年ニ互テ各品目ニ付テノ生産ノ狀況、輸入ノ狀況、ソレニ對スル稅ノ盛方ヲ如何ニスベキカト云フトハ、一品、一目ニ付テ慎重ニ審議シテ、原案ヲ造ッテ、御承知ノ通り其上ニ更ニ關稅定率法ノ委員會ニソレヲ付議シテ、ソコデ初メテ一ツノ案ガ成立スルノデアリマシテ、其意見ト云フモノハ總テ未定稿デアアル、隨テ確定案ト云フモノハナイカラ、確定案トシテ御說明申上ゲルナドト云フコトハ大膽不敵ノコトデアリマスカラ、サウ云フコトハアルベキ筈ガナイ、然ルニ今、昨年ノ春既ニ之ニ類似シタ事柄ヲ農商務省時代ニ手ニ入レタト云フ御話デアリマスガ、サウ云フコトハアルベキ筈ガナイ、若シモアッタトシマシタ所デソレハ未定稿ノモノデアアル、未確定ノモノデアアル、決シテ公ノ席上ニ於テ是ガ政府ノ原案デ御座候ト説明スベキモノデアナイ、サウ云フ次第デアリマスカラ其

點ハドウカ左様御承知ヲ願ヒタイ、尙ホ官紀ノ上ニハ何等關係ガアリマセヌ

○大山商工技師 稅率ノ盛方ニ付テノ御質問デアリマシタガ、先程工務局長カラ申上ゲマシタヤウニ、大體日本ノ毛織物ガドウ云フ點ニ於テ外國品ト競争上困ッテ居ルカト云フコトニ付キマシテ、種々調査シマシタ結果、御承知ノ通り織物ハ稅表ニ分ケマシタヤウニ……

○奧村委員 輸入平均價格ヲ言フテ下サイ

○大山商工技師 ソレデハ輸入平均價格ヲ申上ゲマス、甲ノ「イ」ハ毎百斤五百七圓十一錢、ソレカラ「ロ」ガ六百四十九圓八十四錢、「ハ」ガ五百七十一圓三錢、「ニ」ガ三百二十三圓五十一錢、乙ノ「イ」ガ五百六十九圓二十一錢、「ロ」ガ五百六十八圓三十五錢、「ハ」ガ三百二圓二十錢、「ニ」ガ百六十二圓九十七錢ト云フノガ大體目安ニ致シマシタ平均價格デアリマシテ、是ハ大正十一年七月カラ大正十二年六月迄ノ輸入統計ニ依リマシタ平均價格デアリマス

○加藤委員長 ソレデ宜シイデスカ

○奧村委員 マダアリマス、今綱紀ノ問題ニ付テ稠瀨政務官閣下カラ御話デゴザイマスガ、私ノ申上ゲタ點ハ不幸ニシテ政務官閣下ガ商工省ヘ御這入リニナル前ノ問題デアリマシテ、サウシテ今大山技師ガ御讀ミニナリマシタル

數字ト、私ガ其當時手ニ入レマシタル數字トハ、唯「乙」毛綿製ノ「イ」ノ五百六十九圓二十一錢トアルノガ、私ノ手許ニ在ルノハ二十錢、僅カ一錢違ッタダケデアアルデアリマス、所デ私ハ農商務省ガ農林省ト商工省トニ分レタ後ニ於テモ、五十議會ニ於テ、現内閣ガ三大政策ヲ御遂行ニ相成ッタ、今度ハ看板ガ變リマシテ社會政策ト云フコトニナッタ、社會政策ト云フコトニナッテ、成程今稠瀨閣下ガ仰シヤッタ如ク、此處ヘ出サレマスマデハ未定稿ノモノデアリマセウ、併ナガラ昨年ノ春廻リ廻ッテ私ノ手ニ入リマシタ數字ガ、今回御提案ニ

ニナッタ數字ト何モ變ッテナイ、唯「乙」毛綿製ノ「其他」ト云フ所ガ、四十圓七錢ト云フモノガ、三十二圓六十錢ト、此一項目ガ變ッテ居ルト云フダケデアアル、現内閣ガ一年有餘慎重審議相成ッタニ拘ラズ、其結果ニ於テ御苦勞下サレタ結果ガ少ナイノデハナイカト、斯様ニ思フノデアリマスガ、私ハ是ダケ申上ゲテ置キサヘスレバ宜シイ、是デ打切ッテ置キマス、併ナガラ是カラ私ガ御尋セントスル所ハ、斯ウ云フコトヲ當局ニ御尋シタイト思フ、「甲」ノ「イ」ノ所ノ百瓦ヲ超エザルモノト云フノハ現行率デ止メテ置カレルト云フコトニナッテ居ル、是ハ「モスリン」デアリマシテ、是ハ日本デ立派ニ此目的ニ達シテ居ル、外國カラハ特殊ノモノハ兎ニ角、

ホノ僅々外入ッテ來ナイモノデアリマス、此率ヲ今回ノ改正率ニ於テモ其儘ニ置カレテ居ルト云フコトハ、其結果ダラウト思フ、然ルニ夏ノ服地ニ對スルモノハ七十圓ノモノガ九十七圓五十錢ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ五百瓦マデノモノハ六十圓ノモノヲ九十圓ニ爲サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ、純毛ノ所デ「其他」ノ所ヘ行ッテ、五十圓ノ現行率ヲ六十四圓七十錢ニシテ居ラレマス、内地品ノコトハ數字ガ分リマセヌガ、輸入ノ統計ニ見テ見マスト五百瓦以上ノモノハ六「バ」セント「五」ト云フ數字ヲ示シテ居ル、而モ其純毛ノ所デ五百瓦ヲ超エル所ノ厚地ヲ着ル者ハ、病人カ左モナケレバ贅澤階級ノ者ガ着ルモノト思ッテ居ルノデアアル、ソレカラ純毛ノ二百瓦カラ五百瓦ノ間ニ於テ吾々ガ一口ニ羅紗ト言ッテ居ルモノハ、毛綿製ノモノト違ッテ溫度ヲ保ツ上ニ於テモ高率デアリマスガ故ニ、二百瓦カラ五百瓦トノ間デ補ハレテ居ル、然ラバ是ハドレダケ百ト中ニ於テ使ッテ居ルカト云フト七十「バ」セント「八」五ト云フ數字ヲ示シテ居ル、サウスルト云フト百分ノ六ト云フ數字ハ厚イモノハ比較的生活ノ程度ノ低イ人ガ着ルヤウニ當局ハ思召ガアル、併ナガラ其均霑シナカッタト云フタ所ガ、五百瓦以上ノ純毛製ノモノヲ着ル者ハ、先刻申サヤウナ階級ノ人ガ着ルノデアリマスカラ、稅率ノ事ニ付イテ餘リ重キヲ置カスト思ヒマスケレ

ドモ、當局ハ其方ニ輕クナサッタノデアアル、ソレヨリモ本員ハ何故ニ此二百瓦以下ノ七十三「バ」セント「一」以上ノ需要數量ヲ示シテ居ル所ノモノ、此、其他ト云フ六十四圓七十錢ノ今回ノ改正率ヲ、御嵌メニナラナカッタカ之ヲ伺ヒタイ

○大山技師 詳シイ御質問デアリマシタガ、之ニ對シマシテ稅ヲ盛リマシタ大體ノ趣旨及毛織物ノ性質ト申シマスカ、需要ノ狀態等ニ付テ大體申上ゲタイト思ヒマスガ、御承知ニモナッテ居ルコトト存ジマスガ、毛織物ハ非常ニ複雜シテ居リマシテ、單ニ瓦ダケ稅表ガ出來テ居リマスガ、是ハ便宜上出來テ居リマスノデアリマシテ、是ハ餘リ技術的ニ互ルヤウデアリマスガ、大體毛織物ヲ分ケマシテ所謂梳毛ノ織物、紡毛ノ織物ト二ツニ分ケルノガ本當デアリマス、併シソレハ關稅ノ上ニ於テハ——稅關ノ取扱ノ上ニ於テ困リマス爲ニ瓦ニナッテ居リマス、其紡毛ノ織物ト申シマスレバ日本デ謂フ羅紗アリマシテ、ソレカラ梳毛ノ方ノ織物ハセル地トカ、或ハ編羅紗トカ云フヤウナ、毛斯倫ト云フヤウナ部類ニ屬スル譯デアリマス、ソレヲ大體カラ申シマス、梳毛ノ方ノモノガ先ヅ上等品デ、紡毛ノ織物ノ方ガソレヨリハ下級ナ品物デアアル、ソレカラ稅表ニ上ッテ居リマスヤウナ毛製ニナッテ來マス——梳毛ノ織物ハ殆ド毛製デアリマス、綿ノ交ッタ梳

毛ノ織物ト云フモノハアリマセヌ、ノ
デ、純毛ノ方ニ梳毛ノモノガ多ク屬シ
テ居リマシテ、ソレカラ毛綿製ノ方ノ
モノガ紡毛ノ方ガ多イ、併シ純毛ノ中
ニモ紡毛ノモノハアリマス、所謂毛ニ
綿ノ這入ッテ居ル羅紗ト云フモノハ相
當アルノデアリマス——交ッテハ居ル
ガ大體ニ言フトサウナッテ居リマス、ソ
レカラ今度ハ無地物ト、ソレカラ柄物
ト分ケマス、無地物ノ方ハ紡毛ノモ
ノノ方ガ多イノデアリマス、ソレカラ
柄物ノ方ハ梳毛ノモノガ多イ、ソレガ
非常ニ入交リニナッテ居ルト云フヤウ
ナ譯デアリマシテ、ソレカラ厚サカラ
云ヒマス、二百瓦以下ノモノハ殆ド
梳毛ノモノト云ッテ宜イノデソリマス、
ソレカラ百斤ノ價格ハ二百瓦以下ハ非
常ニ高クナリマス、左様ナ風ニ複雑ニ
ナッテ居リマスノデ、ドレガ善イモノデ
アルカ、ドレガ惡イモノデアアルカト云
フヤウナコトニ付キマシテハ、極ク大
體申上ゲルヨリ外ナイノデアリマス、
ソレデサウ云フ風ナ種類ニナッテ居リ
マシテ、外國品トノ競争ハドウナッテ居
ルカト申シマス、所謂羅紗紡毛ニ屬
シマスモノハ、無地物ガ多イノデアリマ
シテ、無地物ト云ヒマシテモ霜降ノ類
迄ハ含シテ意味ノ無地物デアリマス
ガ、ソレガ多イノデアリマス、サウ云フ
風ニナッテ居リマス、無地物ノ方ハ價格
上ノ競争ニ大體ガ困ッテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ柄物ノ方ハ所謂舶來品

ト云フヤウナ意味ニ於テ日本デ作リマ
スコトガ困難ト云フヨリハ、寧ロ外國
品ノ柄物ニ壓倒サレル、流行其モノニ
壓倒サレル、ソレカラ生産ノ方カラ言
ヒマス、無地物ノ方ハ多量生産デ行
キマスガ、柄物ノ方ハ極ク注文ガ少イ
ノデアリマスカラ、一箱六反ヅツ普通
這入ッテ居リマスガ、其六反モ大抵柄ガ
變ッテ居リマス、一反一柄ト云フヤウナ
風ニ注文ガ多イノデ、日本ノ工場デ申
シマスト分業的ニ發達シテ居リマセヌ
爲ニ、柄物ニ屬シマスル——言換ヘマ
スト上等品ニ屬スル方ノ羅紗類ト申シ
マス、縞羅紗或ハ縞セルト云フヤウ
ナモノニナリマス、外國ノ柄ト云フ
ヤウナモノニ拘束サレマシテ、詰リ技
術ヨリハ其點デ競争ニ困ッテ居ル、以上
困ッテ居ル點ガ二ツアルノデアリマス、
價格ノ競争上困ッテ居リマスノト、ソ
レカラ製造販賣其他ニ於キマシテ、或
ハ生産ノ上ニ於キマシテ、口ガ少サイ
爲ニ、ソレダケ終リマシタノデハ、非常
ニ高ク附クト云フ價格ノ點モ關係致シ
マスルガ、値段其モノ許リデナク、競争
上困ルモノト二ツニ分ケル譯デアリマ
ス、ソレデ稅ヲ盛リマス上ニ於テ最モ
重キヲ置イテ考ヘマシタノハ、多量生産
ノ所謂無地物ニ屬シマスル、多量生産
デヤッテ行ケルモノト、價格上困ルト云
フモノニ對シテ、ソレニ付イテ價格ヲ
ドノ位輸入品ト内地品トノ間ニ、價格ノ
開キガアッタナラバ、競争上困ラスカト

云フコトヲ、主トシテ考ヘタノデアリ
マス、ソレハ價格ノ方ノ問題デアリマ
スト、關稅ノ上デ緩和スルコトガ一番
容易デアリマシ、效果ガ多イ爲ニソ
レヲ主トシテ考ヘマシタ、柄物ノ方ニ
ナリマスト稅關ヲ急ニ引上ゲマシテ之
ガ保護ヲシマシタ所ガ、其他ノ關係ガ
アリマスノデ效果ハ急ニ舉リマセヌ、
併シ其方ハ需要ノ方カラ考ヘマス、
無地物ノ方ハ中流以下ノ者ガ着ルノデ
アリマスカラ、此方ハ餘程關稅ヲ引上
ゲリトシマシテモ、其需要ノ方面モ考
ヘナケレバナラヌ、柄物ノ方ノ上等品
ハ、是ハ中流以上ノ者ノ着ルモノト致
シマシテ、此方ハ關稅ヲ上ゲテモ需要
ノ方カラ言ヒマス、差支ナイノデア
リマス、サウ云フ風ニナリマスノデ、關
稅ヲ盛ル上ニ於キマシテ、此社會政策
的ノ意味ヲ加味スルト云フコトガ是ト
子盾スルヤウニナッテ來マス、關稅政策
ト致シマシテハ、ドウシテモ價格ノ競
争上困ルモノヲ緩和シ、現在日本ノ多
量生産ヲ主ニシテ居リマスモノハ——
厚地毛織工場デハ中心ニ致シテ居リマ
スノデ、其方ノ競争ヲ緩和スルノガ宜
シイト思フ、ソレカラ軍事的ノ意味ヲ
以チマシテモ、無地物ノ方ノ製造、詰リ
羅紗ノ方ノ紡毛ノ方ノ製造ノ發達ヲサ
セルコトガ國防上ニモ必要デアルト云
フヤウナ見地カラ致シマシテ、甲乙ト
分ッテ居リマスル、乙ノ方ノ一番、「イ」

スルモノニ付キマシテ、生産工場ニ於
キマスル生産ノ費用、ソレカラ原料ガ
ドノ位掛ッテ居ルカ、又其原料ガ輸入ノ
モノ、外國ニ於ケル原料ト日本ニ於ケ
ル原料トノ値開キハドノ位ニナッテ居
ルカ、ソレカラ市場ニ於テ内地品ト拮
抗シ得ル輸入品ガ、ドノ位ノ値開キニ
ナッテ居ルカト云フコトヲ細カニ調べ
タノデアリマスガ、是モ御承知ノヤウ
ニ一ツノ例ヲ申セバ、例ヘバ「ヤ」
ル「二」圓隔リガアル、一ツノ例ハ二十錢
シカ隔リガアルト云フヤウニ例ヲ取リマ
ス、殊ニ非常ニ値開キガ違ヒマスノデ、
一概ニ論ズルコトガ出來ナイヤウナ關
係ノ織物類ガゴザイマス、ソレデスカラ
生産費ヲキチツト計算スルコトハ出來
ナイノデ、只今申サウニ工場ノ内容
ニ入リマシテ、或ハ市場ノ販賣ノ上ニ
於ケル値開キノ狀態ヲ研究シテ、彼此
レ斟酌致シマシタ結果、只今申シマシ
タ「乙」ノ「二」ニ屬シマスモノガ、輸入品
ト内地品トノ値開キガ四十錢アルカ
ラ、少ナクモ四十錢關稅ヲ盛ラナケレ
バ、内地ノ此種ノ工業ハ立行カヌト云フ
コトヲ見出シマシテ、ソレヲ基本トシ
テ、ソレカラ更ニ純毛ノ方ニ付キマシ
テモ同様計算致シマシテ、ソレヲ斟酌
シテ二割、羅紗ト云フモノニ屬シマス
モノハ大體二割ノ——羅紗幅ノ「ヤ」
ル「デ」四十錢ト致シマス、輸入平均額
ニ比較シマシテ約二割ニナリマス、ソ
レデ一番保護ノ必要ノ有ル點ガ二割、

ソレカラ最早内地ノ工業ガ發達致シマシテ、現在ノ稅率デ既ニ成立ッテ居ルト云フヤウナ物ハ、現在ニ据置クト云フニツノ方針ノ下ニ、其間ノ二百瓦若クハ五百瓦ト云フヤウナ物ハ、ソレ研究ノ末、此位ノ所宜カラウト云フニツノ方針ヲ其準トシテ、折衷按排シタト云フコトニナッテ居リマス

○加藤委員長 奥村君、マダ質問ガアリマスカ

○奥村委員 マダ澤山アリマス、私ノ質問シタ點ヲ外シテ、今ノヤウナ長廣舌ヲ弄セラレテハ、諸君ガ甚ダ御迷惑デアル

○加藤委員長 ソレデハ休憩致シマシテ午後一時カラ繼續シマス

午後零時十三分休憩

午後一時十六分開議

○加藤委員長 關稅定率法中改正法律案ノ委員會ヲ午前ニ引續イテ是カラ開キマス

○太田委員 私ノ伺ヒマスコトハ極メテ簡單デアリマスカラ、御答辯モ「ノ」イニス「ト」言ッテ頂ケバ宜シイノデス、毛織物ノ關稅ガ改正ニナリマシタ結果、需要者ノ多數アル所ノ洋服地、即チ安イ洋服地、國民ノ多數ガ用ヒル安イ洋服ニ影響ヲ及ボシテ來ル、値段ガ上ル結果脅威ヲ感ズル斯様ナコトニナリハシナイカト思フ、勿論其中デ高級ノ高イモノハ關稅ガ上ッテモ差支ナ

イ、贅澤ニ着ルノダカラ幾ラ關稅ヲ取ッテモ宜シイ、ケレドモ安イ物ヲ着テ居ル者ハ關稅ノ爲ニ價格ガ騰貴スレバ生活ノ脅威ヲ感ズルト思ヒマスガ之ニ付テ何カ御調査ニデモナッテ、關稅改正ノ結果ガ洋服細民ニ迷惑ヲ及ボスヤウナコトガナイト云フ御見込ガ立ッテ居リマセウカ

○大山商工技師 此關稅ノ引上ゲ率ハ甚ダ輕微デアリマシテ、私共ノ計算ニ依ルト五分バカリノ上リニナリマスノデ、一番安イ物ト云フ「ハ」「ニ」「ノ」中ノ「ヤール」ニ付テノ上リ高ガ十一錢カラ十三錢位、ソレカラ五百瓦ノ薄地ノ所ニ行キマシテ、十一錢カラ二十一錢位ノ上リニナッテ居リマス、隨テ一ツノ服ガ三「ヤール」トスルト三十錢カラ六十錢位マデノ負擔ニナル譯デアリマシテ、關稅ガ上リマス、内地ノ、只今悲境ノ爲ニ約半數位生産ヲ休ンデ居リマスルモノガ、其生産ヲ回復スルコトニナリマス、此計算ダケハ實際ニ於テ上ラズニ濟ミマス、左程脅威ヲ感ゼシメルト云フ影響ハナカラウト考ヘテ居リマス

○太田委員 サウスルト高イ物ガ一着分トシテ六十錢、安イモノガ三十錢ト云フコトニナルノデアリマスカ

○大山商工技師 低級ノ品物ノ中ニ於ケル比較的高イ物ガ六十錢、安イ物ガ三十錢トナルノデアリマス

○太田委員 サウスルトモウ一ツ伺ヒ

タイノハ内地ニ於テ安イ、品物既ニ多數產出シツツアルノデ間ニ合ッテ居ルガ、高級品ガ内地ニ於テハ少イノデ、此高級品ノ生産ト云フモノヲ將來大ニ、助長サセルト云フ意味ニ於テ、多少保護スルト云フコトハ宜シイガ、内地ノ生産品ノ中ニ於テ、安イ物ハ既ニ其生産能率モ増進シ、又技術モ進歩シテ、需要ニ對シテ多數供給シ得ルモノトスレバ、ソレニ向ッテ尙ホ保護ヲ與ヘル必要ハナイヤウニ思ヒマスガ、政府ニ於テハ關稅ヲ引上ゲテ、之ヲ保護スルト云フ必要ヲ御認メニナリマス、極メテ簡單ニ御答辯ヲ願ヒマス

○大山商工技師 内地ノ羅紗會社デ一番重キヲ置イテヤッテ居リマス、ハ、安イ分ノ厚イ物デアッテ、是ハ相當發達シテ居リマスガ、現在ハ價格ノ競争ニ於テ、困ッテ居ルト云フ事情ニナッテ居リマス、是等ノ物ハ相當發達シテ居ルカラ、關稅ヲ引上ゲナクテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ御話デアリマスガ、實際ハ價格ノ競争ニ於テ困ッテ居リマス、之ヲ保護シナケレバナラヌノデアリマス、他ノ高級品ニナリマス、是ハ値段以外ノモノガアリマス、價格デハ引合フトカ引合ハストカ云フヤウナコトハ問題ニナラヌノデアリマス

○太田委員 此關稅率ニスルト、從價ニ引直シテ從價何割位ニナルト云フコト、ソレカラ從價ノ平均率、例ヘバ五百

瓦ヲ九十圓トシタノハ、ドウ云フモノヲ平均シテ、之ヲ割出シタカト云フコト、ソレニハ多分何カ標準ガアリマセウカラ、ソレヲ參考トシテ出シテ戴キタイト思ヒマス、其内容ノ細カイ事ハ此場合略シマス、唯モウ一點申上ゲテ置キタイノハ、會社ガ相場ガ安イカラ、ソレガ爲ニ困難ヲシテ居ルト云フ御話モ、内地ニ於テ毛織物ヲ製造シテ、サウシテ自足自給ヲ圖ルト云フコトノ御趣旨ハ、私共結構ト思ヒマス、其點ニ付テ異議ハアリマセヌガ、會社ガ基礎薄弱デアル、若クハ原毛ノ仕入ニ不利ナルコトガアル、或ハ賣買ノ方法トカ、工場ノ組織ノ改善ヲ要スル必要ガアルトカ、又ハ機械ガ舊式デイカナイトカ、更ニ原料ニ付テモ、羊毛バカリデハナイ、曹達灰トカ、「オレー」油「ト」カヲ必要トスルガ、サウ云フモノヲ、關稅ヲ引上ゲテ、不相當ナ課稅ヲ爲サタラ、サウ云フ結果トシテ、一面ニ會社ガ不引合デアルトスレバ、ソレヲ今度ハ輸入スル所ノ製品ニノミ、課稅ヲ厚クシテ見タ所デ私ハ面白クナイヤウニ思フ、寧ろ其輸入品ニ對シテ相當ノ課稅ヲシテ、内地ノ産業ヲ保護スルト云フコトノ趣旨カラ行ケバ、原毛若クハ其中間原料トナルベキモノ、若クハ加工スベキモノ、各種ノ原料トナルヤウナモノニ對シテハ、十分保護政策ヲ執ッテ、サウシテ安イ物ヲ造ラセル、國民ノ生活ノ所謂安定ヲ得セシメルト云フ方面カ

ラ、安イ物ヲ造ラセル、高イ物ヲ態ニ引合ハナイカラト言ッテ高クサシタ、其結果ト云フモノハ、國民ノ迷惑ニナルノデアリマス、斯様ノ如キコトハ私取ラナイヤウニ思フ、サウスルニハ所謂工場ノ監督モ必要デアリマセウシ、若クハ不當利得ヲ禁止スルト云ヤウナコトモ必要デアリマセウ、又羅紗ノ販賣ト云フヤウナコトニ付テモ、現在ノ輸入額ト、現在ノ需要者ガ直接買入レル價格ノ差ト云フモノハ非常ニアルヤウニ思フ、其販賣方法タルヤ、是ハ當業者ニ聽イテ見テモ、先ヅ見本ニ一割切ッテシマフ、故ニ其一分割タケ高ク賣ラナケレバナラヌト云フヤウナコトニナッテ居ル、其方法ガ非常ニ惡イ、サウスルコトヲ改善ヲ促スト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ別途ニ關稅ヲ離レテ、十分商工省、若クハ其他ニ於テ之ニ對スル御意見ガアラウト思フ、若シ御意見ガ無シトスレバ、サウスル方面ニ於テ――關稅ノ方ハ内地ノ産業ヲ保護スル爲ニ、ドン／＼引上ゲルト云フカモ知レヌガ、一方ノ販賣方法、其他色／＼ノ設備ニ於テ、相當ナル注意ヲ拂ハレナケレバナラヌト思フ、サウスル所謂需要者ノ多イ、安イ洋服ヲ求メルヤウナ者ニ對シテ、成ベク安イ物ヲ提供サセルベク、殊ニ社會政策ノ點ヨリ考慮シテ、其方面ニ於テ十分安イ物ヲ提供サセル、斯ウ云フヤウナ御考デモアリマスカ

要ナコトデゴザイマスガ、是等ノ事ハ中々急速ニハ御趣意ニ適フヤウニスルノハ期シ難イト思ッテ居リマス、ドウシテモ販賣ノ方法ト云フモノヲ改善スルニアラザレバ、所謂社會政策ヲ實現スルニ付テモ頗ル困難デアル、今日ノ我ガ商業界ノ狀況ヲ見マスト云フト、生産費ト販賣價格ト云フモノノ間ニ非常ナ開キガアリマス、是ハ矢張販賣組織ガ不完全デアル、所謂仲買小賣人ト云フヤウナ、中間ノ口錢取ト云フモノガ餘リニ多イト云フコトノ爲ニ、サウスル今日ノヤウナ、極メテ不自然ナ價格ヲシテ居ルモノガ澤山アリマスカラ、是等ニ對シテモ十分意ヲ用ヒマシテ、今後關稅ノ引上ト同時ニ、兩々相俟テ需要者ノ方面ニモ便宜ヲ與ヘル、而シテ又生産ノ方面モ、ソレガ爲ニ弱ラナイト云フヤウナ方法ハ、十分研究シテ進ミタイト思ッテ居リマス

○太田委員 私ハモウ是デ終リデス、只今ノ御説ノ如クニ、兩々相俟ッテ關稅ノ引上ニ依テ需要者ノ迷惑ヲシナイヤウニ、之ヲ緩和スルト云フ方面ニモ十分慎重ニ一ツ御考慮ヲ願ヒ、尙一面ニハ産業ノ方面ニ付テモ十分考慮シ、相當ノ政策ヲ執ル、斯様ナコトデアリマスレバ、兩々相俟テ效果ヲ擧ゲルコトト思ヒマス、併シ生活必需品デアル所ノ斯ノ如キ物ガ、關稅ノ引上ノ爲ニ少シデモ脅威ヲ感ズルト云フヤウナコトハ、甚ダ宜シクナイト思フ、故ニ此點ニ付テハ十分一ツ御考慮下サレタイ、是デ質問ヲ打切りマス

○加藤委員長 奥村君

○奥村委員 午前政府委員ノ大山氏カラ御答下サイマシタ點ハ、純毛即チ毛織物ノ毛製バカリノ物、其中五百瓦以上ノ「オーバー」用、殊ニ厚地ノ方デアリマスレバ、ソレハ内地ノ製品ニ屬シマス物ノ消費高ハ分リマセヌニ依テ、輸入數量カラ之ヲ見マスト云フト、五百瓦以上ノ物ガ百分ノ六デアル、百分ノ六ト云フモノニ稅率ガ輕クナッテ、サウスル、五百瓦以下二百瓦マデノ物ニ重イ稅ヲ課セラレテ居ル、即チ其率ハ五百瓦以上ノモノハ六十四圓七十錢、ソレカラ其五百瓦以下ノモノハ九十圓トナッテ居リマスガ、多數ニ消費サレル所ノ物ニ付テ、其額ガ非常ニ重クナッテ居ル、而モ此六十四圓七十錢ノモノヲ着得ナイ人デモ、九十圓ノ課稅ヲサレタ所ノ五百瓦以下ノモノヲ着テ居ルノデアル、ソレニ付テ考慮ヲ拂ッテ居ラナイヤウニ思フガドウカ、斯ウ御尋シマシタ所、色々外ノ方面ノ御答ニナッテ居ルガ、此點ニ付テ御答ヲシテ戴キタイ、是カラ一問一答デヤッテ戴キタイ

○大山商工技師 御尋ノ點ハ「五百グラムヲ超エサルモノ其他」ノ所デゴザイマスヤウデスガ、是ガ甲ノ所デハ、純毛ノ物ニ付キマシテハ、外套ノ極ク厚イト云フヤウナ程度ノ物ガ「ニ」ニ屬シマシテ、普通ノ洋服地ハ「ハ」ノ所ニ入ルヤウニナッテ來マスノデ、稅率ガ重イ物ガ安クテ、輕イ物ガ寧ロ高イデヤナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ百斤常リノ値ニナッテ居リマスノデ、輕イ物ハ百斤ノ單價ガ非常ニ高イノデアリマス、ソレデ「ヤール」當リニシマスト矢張「ハ」ノ方ガ安ク出來テ居リマシテ、「ニ」ノ方ガ高ク出來テ居リマス、「ヤール」當リデ申シマスト「ニ」ノ物ハ一番重イ程度ノ物デ、計算シマシテ八十三錢ニナル、ソレカラ輕イ物ハ七十三錢ニナル、「ハ」ノ所ノ五百瓦ヲ超エザイモノハ、極ク重イ物デスガ、其他ノ重イモノデ六十八錢、輕イ物デ計算シマスト四十四錢ニナリマスカラ、實際ハ矢張「ハ」ノ方ガ高ク出來テ居リマス

○奥村委員 只今政府委員ノ御説明デアリマシタガ、ソレハ中ニ偶ニハ、政府委員ノ説明セラレル如クデアリマスカ、私ガ今百瓦カラ七百四十八瓦マデノ見本ヲ此處ニ持ッテ來テ居リマスガ、其中ニハ今五百瓦以下ノ物ニ付キマシテモ、相當稅率ガ上ッテ居ッテ、五百瓦以上ノ物ニ付キマシテモ、輕クナッテ居ルハ重クナッテ居ル色々シテ居ッテ、是ハ一概ニ行キマセヌガ、私ノ言フノハ二百瓦カラ五百瓦ノ間ガ、一般ノ服地トシテ用ヒラレテ居ル、而モ外套ニシテモ、純毛ノ物ガ溫度ヲ保ツ上ニ於テ效力ガアルノデ、多數ノ者ハ五百瓦以下ノモノヲ用ヒテ居ル、サウスルト、今日此純毛ノ物ヲ着ル者ハ強チ生活ノ程度ノ高

イ人バカリ、或ハ生活ノ裕カナ人ノミ
ガ着ルノデハナイノデスカラ、ソレデ
五百瓦以上ノモノハ百分ノ六ニ過ギナ
イニ拘ハラズ、ソレヲ安クシテ、多數ノ
方ヲ増スト云フコトハ、社會政策的デ
ナイヤウニ思フ、ソレヲ御質問シタノ
デス、併シ是ハ今ノ御答辯ニ、重ネテソ
レ以上伺フコトハ、難キヲ強ヒルヤウ
ニ私モ察セラレマスカラ此點ヲ打切り
マスガ、此次ノ乙ノ方ノ毛綿製ノモノ
ニ付キマシテ御伺ヲ致シテ見タイ、是
ハ二百瓦マデノモノ、二百瓦以下ノモ
ノハ即チ「アルバカ」ト云フモノデアッ
テ、殆ド日本デ出来ナイ、到底今日ノ技
術上出来ナイノデアアル、併ナガラ之ヲ
ドウシテモサウシナケレバナラヌト云
フ必要ニ迫ッテ居ルノダガ、之ヲ如何ニ
シテ將來發達サセル御見込デアアルカト
云フコトヲ御尋シタイ、ソレカラ五百
瓦ヲ超エザルモノト、超エタルモノト
ノ輸入品ニ對スル率カラ申シテ參リマ
スト云フト、是ガ其消費ヲ一面物語ッテ
居ルト私思フノデ御尋ヲスルノデアリ
マス、數量ニ於テハ五百瓦以下ノモノ、
二百瓦以上ノモノガ——四十八「パー
セント」「三二」ト云フモノデアアル、ソレカ
ラ五百瓦ヲ超エタルモノガドウデアアル
カト云フト、三十二「パーセント」「四四
ト云フモノガ是ガ大藏省ノ方カラ出来
サレテ居ル所ノ統計ヲ私ハ尙ホ編ミマ
シタ所ノ數字、ソレニ在ルノデアリマ
スガ、サウスルト云フト、此社會政策ノ

立場カラ私申上ゲルノデアリマス、恐
ラク毛綿製ト云フモノハ五百瓦以上ノ
モノヲ服ニ着テ居ル者ハナイノデアリ
マスガ、以下ノモノハ薄手ト云フ方ノ
服ニナッテ居ル、サウスルト云フト、「オ
ーバ」地ノヤウナ五百瓦以上ノモノニ
稅率ガ低イ、サウシテ五百瓦以下ノ服
地ニ對シテ稅率ガ高イト云フコトハ、
政府ハ所謂毛綿製ノモノヲ需要スル所
ノ學生、勞働者トカ、或ハ安イ月給取ノ
御方ハ「シヤツ」ノ上ニ直接「オーバ」ヲ
着ケ仕事ヲシテ居ルモノカ、或ハ服ヲ
餘計着テ居ルモノカ、私ハ服ハ假ニ六
箇月、四箇月間使用スルモノナラバ「オ
ーバ」ハ二箇月ニシテ事足ルト思フ、寧
ロ私ハ社會政策ノ見地カラ國務大臣ガ
仰シヤッタヤウニ、又國務大臣ノ御判斷
ノ材料ヲ提供サレタ所ノ政府委員ハ、
此意味ニ於テ提供サレタモノト思フガ
ドウカト云フコトハ、私ハ當初ニ念ヲ
押シテ、私ガ質問ニ入ル前ニ念ヲ押シ
タノハ此點デアアル、大臣ハ社會政策ト
云フコトヲ根本トセラレテ居ルナラ
バ、外套ハ寧ロ稅ヲ掛ケテ比較的必需
ノ程度ノ深イ所ノモノ、洋服ニ對シテ
——毛綿製ノモノデアリマスガ、之ニ
對シテ課稅ヲ低クサレルト云フ理由、
多ク着ラレテ居ル需要ノ多イ方、必需
ノ程度ノ方ニ付テ稅率ヲ高ク盛ッテ居
ラレルト云フコトハドンナモノデアアル
カ、此稅率ヲ一ツ御聽キシタイ、稅率ヲ
掛ケラレタル政府委員ノ頭ヲ一ツ聽イ

テ見タイ
○大山商工技師 私共ノ研究デハ御意
見トハ少シ違フノデアリマスガ、矢張
見ル所ノモノモ大分異ニスルモノガ多
イノデアリマス、丁度服ニスルモノト、
外套ニスルモノトノ境ガ、五百瓦デ餘
程中間ニナルヤウニ私共ノ研究ハナッ
テ居リマスガ、稅ハ同ジク大體二割ニ
ナッテ居リマス、片方ニ輕イトカ重イト
カ云フ意味ニナッテ居ラヌノデアアリマ
スノデ、生産ノ方カラ見マシテ兩方ヲ
同ジヤウニ見ルノガ當然デアラウト云
フコトニ、大體研究ノ結果ナッタノデア
リマス、「アルバカ」ニ付キマシテハ後
藤毛織邊リデ現ニヤリツツアリマス
ガ、是ハ相當技術的ノ研究モ要リマヒ
ウトハ思ヒマスガ、急ニ關稅ヲ上ゲマ
シタカラト云ッテ「アルバカ」ガ急ニ出
來ルトモ思ヒマス、マダ始ッテ程度デア
リマシテ、其結果モ見マセスト將來モ
分リマセスト云フヤウナコトデ、大體
据置キニ致シタノデアリマスガ、是ハ
別ノ方法ニ依リマシテ、例ハバ研究費
ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテ、相
當内部ニ於テ相談ヲ致シテ居リマス
○奧村委員 只今ノ政府委員ノ御説明
ニ依リマススト云フト、大體五百瓦ノ所
ニ於テ「オーバ」地ト服地トヲ區別シ
得ルト云フコトデ、其點ニ付テ私トハ
見解ヲ異ニシテ居ルト云フ御話デアリ
マスガ、私ハ此處ニ見本ヲ持ッテ來テ居
ルノデアリマスガ、是ハ四百六十五瓦、

或ハ四百瓦ト云フ所ノ品物モアル、恐ラ
クハ斯ウ云フ厚イ物デ拵ヘタ服ヲ勞働
者ガ著テ居ルガラウカ、偶ニハアリマセ
ウケレドモ、私ハ餘程其邊ハ見解ヲ異
ニシテ居ル者デアリマスガ、又御寸暇
ガアリマシタラ、此見本ヲ見テ頂クコ
トニシテ、私ノ今御尋シタイノハ毛綿
製ノモノヲ五百瓦デ境ヲ付ケラレタ
ガ、私ハ其二割ト云フ——政府案ハ二
割ト出テ居リマス、勿論其基本數タル
所ノ毎百斤ノ價ニ付テモ午前ニ承ッテ
居ッタノデアリマス、社會政策ニ背イテ
居ルトカドウトカ云フコトニ對シマシ
テハ、是ハ其政府委員ノ、殊ニ事務官ノ
御方ニ御尋シテモ、或ハ太田氏ガ社會
政策云々ト御尋シタコトト同ジ結果ニ
陷ルデアリマセウシ、又問フ所以デモ
ナカラウト思ヒマスカラ、是ハ後日ニ
讓ッテ置キマスガ、私ガ御尋シタイノハ
——モウ打切ッテ置キマスケレドモ——
假ニ政府案タル所ノ、是ハ各別ニ御
示シテ願ヒタイノハ甲ノ毛製ノ物デア
ッテ、今回改正サレタ所ノ率ヲ上ゲラ
レタ所ノ二百瓦ヲ超エザルモノガ、九
十七圓五十錢ニ相成ッテ居リマス、サウ
スルト云フト外國品ガ日本ニ著イタ品
物ノ値段ト、九十七圓五十錢ト云フ結
局開キガアルト云フコトニナル、或ハ
五百瓦ヲ超エザルモノハ九十圓ニシ、
或ハ六十四圓七十錢ニ「ニ」ノモノヲナ
サッタト云フコト、毛綿製ノモノ、即チ
乙ノ五百瓦ヲ超エザルモノヲ國定稅率

三十七圓五十錢デアルノヲ、今度六十圓四十錢ニナサレタト云フコト、國定稅率ニ十二圓五十錢ヲ三十二圓六十錢ニナサレタ、斯ウシテ見ルト云フト、外國カラ輸入品ガ來テ、輸入品ノ沖渡沖著ノ値段値ト、サウシテ内地品ニハ詰リ是ダケ擁護セヌコトニハ外國品ガ安ク付クノダト斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是ダケノ保護ヲスルト云フト外國品ト日本品ト平均ノ高サニ來ル、平均ノ高サニ來ルナラバ私ノ御尋セントスル所ハ、内地ノ品物ニ對シ何處ノ會社ノドウ云フ品物ヲ基準トシテ、斯ウ云フ値段ヲ盛ラレタカ、即チ今度ノ改正率ガ九十圓、六十四圓七十錢、六十圓四十錢、三十二圓六十錢、斯ウ云フ改正率ヲ盛テ行ッテ外國輸入品ニ課稅シテ、サウシテ内地品トノ値段ノ均衡ヲ保ツト云フコトニナル、尙ホソレナラバ其内地品ハドウ云フ品物ニ依テ御ヤリニナツタカ、五百瓦二百瓦ノ間ハ是ハ御計算ヲ出サレル以上ハ事實ニ立脚ナサツタモノニ違ヒナイ、勿論サウシテ出サレナケレバナラヌ、此間ノ「コンスターチ」ノヤウナ馬鹿ゲタ政府ノ基礎材料デハナカラウト思ヒマスカラ、賢明ナル大山サンニ於カレテハ、ドウカ其邊ニ付キマシテ十分其事實、即チ何處ノ會社ノ何番ノドウ云フ製品ヲ參考トシタトカ——比較ヲドウシタ、斯ウ云フ事實ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス、故ニ私ハ先程カラ織物

會社ノ會社ノ名前狀態ヲ知ラシテ吳レト言ウタノハ此處ダ、其會社ナリ個人ナリノ營業狀態、生産費等ヲ考慮シテ、消費者ニ迷惑ヲ掛ケテモ斯ウシナケレバナラヌト御判斷ニナツタ、或ハ政務次官ヲシテ御判斷セシメラレタ所ノ其材料ガアルニ違ヒナイカラ、ドノ會社ノ何番、何瓦何瓦ノモノハ斯ウデアルト云フコトヲ事實ヲ指摘シテ御示シテ願ヒタイ、討論ニ移ルニハマダ時間ガアルカラ、今日御即答出來ナケレバ十分ニ了解ガ出來ルヤウニ、何等ノ私心ヲ挾マヌデ——甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲテ濟マヌケレドモ、材料ヲ一ツ御示シテ願ヒマス

御話デアリマスガ、毛織物ト云フト一ツノ稅番ニ含マレテ居リマスケレドモ、稅額カラ行キマシテモ中ニ多額ノモノデアリマス、ソレダケ消費者ニ對シテ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアアル、之ニ對シテ何百瓦何百瓦ノモノハドウト云フ其基礎ニ對シテ、アア思ッタ、斯ウ思ッタト云フ机ノ上デ御考ヘニナツタノデハ違フト思フ、是ハ何處ノ會社ナラ何處ノ會社ノ製品ヲ基準トセラレタト云フノデナケレバ、實際ノ問題ニ觸レナイト思フガ、今ノヤウナ胡麻化シ答辯ヨリ外ニ出來ナイト云フナラバ、吾々ハ已ムヲ得ナイ、ソレカラ先程工務局長ハ關稅ニ依ルガ最急務デアルト言ハレタケレドモ、先程大山技師ノ吾々或ハ同僚ノ太田サンカラノ質問ニ對シマシテモ、純毛ノモノニ付テハ——毛製ノモノニ付テハ柄デアルトカ、何デアルトカ、技術ノコトヲ大變述ベテ居ル、私共ハ確ニ技術ノコトヲ認メテ居ル、大山サンモ言ッテ居ル、併シ工務局長ノ口カラ出ナイカラ分リマセヌケレドモ、サウナルト關稅ノ保護ダケデハ完成セラレヌト云フコトハ、御二人ノ御答辯ニ依テ明デアリマスガ、ソレハサウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

差迫ッタ問題ト致シマシテハ殆ド唯一ノ問題デアル、斯様ニ申シテ居リマス、關稅政策ノミトハ申シマセヌ、冠詞ヲ使ッテ居リマス、速記録ヲ御覽ヲ願フト分リマスガ、國產獎勵等ノ施設ハ別ト致シマスト云フコトハ、一面ニ於テ技術ノ問題デアルト云フコトモ承知シテ居リマスシ、出來ナイモノモ出來サナケレバナラヌト云フコトモ承知シテ居リマス、技術ニ付テモ研究ノ方面ニ付テ、或ハ研究費ヲ補助スルト云フヤウナコトニ付テ内議ヲ進メテ居リマス、其外國產品愛用ヲ獎勵シテ貫ヒタイ、國產品ノ愛用心ヲ喚起シテ貫ヒタイト云フコトヲ申シテ居リマス、外國品ヲ使用スルト云フコトデハ國產品ガ發達シナイト云フノデ申シタノデアリマス、等ト申シタノハ其他ノ施設ガアリマス、或ハ只今ノ政務次官ノ御話ノヤウナ生産者カラ消費者ニ行クマデノ間ニ於キマシテ色々ノ手數ガアル、ソレ等ノコトモ省クト云フヤウナ點モ考慮致シテ居ルノデスガ、目下ノ點ト致シマシテハ是ガ唯一ノ點ニナツテ居ルト申シタノデアリマス

○奧村委員 再三御尋致シテモ今ノ問答ノ點ガ分リマセヌガ、併シ午前ニ當局ニ御願シテ置キマシタ、日本ノ毛織物業者ノ今日ノ營業狀態ヲドウ見テ御座ルカ、其統計表ヲ御提出ニナツタ其後ニ於テ又述ベタイト思ヒマス、今日ハ保留シテ戴イテ、是デ私ノ三百一番ニ

○大山商工技師 先程長ミト申上ゲマシタノハ、羅紗ノ生産費ハ御承知ノ如ク非常ニ種類ガ多イノデ、或ル一ツノ物ヲ捉ヘテソレノ生産費ニ依テ全體ノ關稅ヲ論ズルコトガ出來ナイノデアリマシテ、此點ガ毛織物ノ關稅ヲ盛リマシ上ニ於テ、私共ガ上局ノ質問ヲ受ケテ、非常ニ困ッタ點デアリマシテ、的確ニ斯ウ云フ風ナモノヲ斯ウ云フ風ナ計算ニ依テ斯ウシタト云フコトハ出來マセヌノデ、先程申シマシタヤウニ色々ナ方面カラ調べマシテ、其結果ガ斯ウナツタト云フコトデ、上局ノ了解ヲ得タテ申上ゲル材料ハアリマセヌ

○奧村委員 只今政府委員ハ一々ノ材料ニ付テ答辯スルコトガ出來ヌト云フ

○宮内政府委員 私ノ前ニ申上ゲマシタノハ、國產獎勵ノ施設ハ別ト致シマシテ、關稅ニ依リマスノガ急務デアルト斯様ニ申上ゲタノデ、關稅ハ今現ニ

保留シテ戴イテ、是デ私ノ三百一番ニ

保留シテ戴イテ、是デ私ノ三百一番ニ

對スル今日ノ質問ヲ打切りマス
○加藤委員長 第九類ノ質問通告ハ是
デ終了致シマシタ、第十類ニ移リマ
ス

○永田委員 三百五十四番ニ付テ極ク
簡單ニ質問ヲ致シテ置キマスガ、三百
五十四ノ「帽子及帽體」ト云フ所ニ付テ
デアリマスガ、從來此帽子ガ日本デ出
來マセヌデシタ、此前ノ關稅改正デ適
當ナ保護ヲ願フテ、其爲ニ日本ノ帽子ガ
漸ク國產デ間ニ合フヤウニ今日ナリマ
シタ、所ガ普通ノ帽子ハ間ニ合フヤウ
ニナリマシタガ、尙ホ段々技術ガ進シ
デ來マシテ、兎ノ毛ノ帽子ト、羊ノ毛ノ
帽子トハ、兎ノ方ガ技術ガムツカシク
テ而モ高イ、之ヲ一緒ニシテ置カレタ
ノデハ、ドウシテモ良イ帽子ハ出來ナ
イト云フノデ、當業者カラ當局ニ向ッテ
隨分御願ガアッタサウデナリマスガ、ソ
レヲ御聽取リ下サイマシタモノト見エ
テ、玆デ見マス少シ稅率ガ高ク見積
ヲシテアリマス、所ガ一寸玆ニオカシ
イト思フノハ「乙ノ「帽子」ノ「イ」

「ロ」
斯ウ云フ譯デアリマシテ「ロ」ノ「其ノ
他」ト云フ方ニ毎打十五圓八十錢ト云
フコトニ見積ッテアリマス、其次ニ「乙
ノ二帽體」ト云フ所ニ「イノ二其ノ他」
ト云フ所ニ矢張毎打十五圓八十錢デ釣
合ッテ居リマシテ、「ロ其ノ他」ノ「ロノ
一」「二」此處ニハ御承知ノ如ク斯ウ云
フコトニナッテ居リマシテ「羊毛製ノモ
ノ」ガ毎打九十五錢、其ノ他ノモノハ

從價二割、此「ロノ二」ガ以前モ從價二
割デアリマスガ、初ノヤウニ十五圓八
十錢ニ引上ゲタモノト同ジ釣合ヲ取レ
バ、「ロノ二」モ矢張以前ノ從價二割ガ、
今同從價二割デ据置カレテ居ルノガ何
ダカオカシイヤウニ思ヒマスガ、其點
ハドンナ風ニ政府ハ思召シデアリマス
カ、一寸伺ヒマス

○矢部政府委員 只今ノ御尋ハ御尤ノ
事ト考ヘテ居リマスガ、稅率ヲ作リマ
ス際ニ能ク研究致シマシタガ、帽子及
帽體ハ同様ナ率ニ致シマシテ、ソレカ
ラ其他ノ形造ラレザルノニ付テハ輸入
ガゴザイマセヌ所カラ、現狀維持デ差
支ナカラウト見タノデアリマス

○加藤委員長 長田君——三百五十八
○長田委員 三百五十八ノ「バックル」
「フック」及「アイ」類、是等輸入ガ二十三
萬圓程ニナッテ居リマスガ、今内地ニ於
ケル製造狀況及將來ノ見込等モ極ク簡
單ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○竹内商工省工政課長 大體三百五十
八ニ屬スルモノハ百萬圓位ト推定シテ
居リマス、是ハ家内工業デアリマシテ、
一々會社名ヲ擧ゲテ御答ガ出來ナイノ
デアリマス、併シナガラ吾々ノ調べタ
所デハ、東京、大阪地方ニ於テ是ハ主ニ
行ハレテ居ルルヤウニ思ッテ居リマス

○加藤委員長 三百四十九、太田君
○太田委員 是ハ贅澤關稅關係ノコト
ヲ承知シナイデ質問致サウトシタノデ
アリマシタガ、分リマシタ、唯此場合申

テゲテ置キタイノハ、絹ノ肩掛及襟卷
類、是ハ日本デ絹ガ澤山出來ルニモ拘
ラズ、海外カラ多數是ガ入ッテ來ル、日
本ノ職工ガ一ツ拵ヘテ五六圓カラ十圓
位ノモノガ出來ルガ、職工ハ五六圓位
ノ日當シカ貰ヘナイ、亞米利加ノ方ハ
十圓、十五圓職工ガ賃銀ヲ得ル、サウシ
テ品物ハ二十六圓カラ三十五圓ニナ
ル、ソレガドウカト云フト日本カラ絹
ガ行ッテ、向フデソレヲ拵ヘテ持ッテ來
ル、實ニ愚ナ話デアアルト思ッテ居リマス
ガ、斯ウ云フコトニハ商工省ガ十分御
研究ニナッテ、何等カノ方法ヲ以テ海外
ニ負ケナイヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト
思ヒマス、是デ此質問ハ打切りマス

○加藤委員長 第十類ノ質問ハ終了致
シマシタ、第十一類、松本君、三百六十
一

○松本委員 三百六十一ノ「バルブ」ノ
コトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、「バル
ブ」ノ昨年度ノ輸入ハ、千四百九十何萬
ト云フヤウナ大ナル數字ヲ示シテ居リ
マス、併ナガラ是等ノ殆ド大部分ハ我
國ニ於テ製造シ得ルモノデアリマスガ
ラ斯様ナ輸入ノ數字ヲ示シテ居ル、又
更ニ是ガ數量ガ大ニ増加スルデアラウ
ト云フヤウナ風ガ見エテ居リマス、之
ヲ何トカシテ輸入ヲ防遏スルノ手段方
法ハナイモノデアラウカドウカ、ソコ
デ段々此製紙工業等ニ付テ聞イテ見マ
スル所ニ依ルト、爲替ノ關係等ニ依テ
非常ニ現在製紙工業ガ苦痛ヲ受ケテ居

ル、或ハ加奈陀方面ノ投資等ニ對抗ス
ルコトガ出來ズ、非常ニ苦境ニ陥ッテ居
ル、又本年ヨリ樺太ニ於テ原材料トデモ
言ヒマスガ、原料ノ立木一石ニ對シテ
約十錢ノ値上ゲノアル關係、又更ニ從
來皆伐ヲ許シテ居ッタモノガ擇伐デナ
ケレバ許可セヌト云フヤウナコトニ依
テ、頗ル高價ニ付クヤウナ結果、一方ニ
ハ爲替ノ關係ニ於テ窘メラレ、更ニ原
料ノ價格ノ騰貴及擇伐ニ要スル料金ノ
費用ト云フヤウナ關係上、頗ル苦境ニ
陥ッタルヤウニ承知致シテ居リマスル
ガ、此稅率表ヲ見マス、云フト政府ハ
据置ニナッテ居ルヤウデアリマスルケ
レドモ、之ヲ價格ノ點カラ見マス、ト云
フト、四十三年ノ頃ニ此稅率制定當時
ニ於テハ五分ニ當ッテ居ッタモノガ、只
今ニ於テハ金額ハ同ジク二十二錢デア
ルケレドモ、二分五厘弱ニ當ッテ居ルヤ
ウナ關係ニモ相成ッテ居ル、旁々是等ニ
付テハ幾分稅率デモ高メテ參ッテ、輸入
ヲ阻止スルト云フヤウナコトニスル御
考ハドウデアラウカ、此點ニ付テ先ヅ
御伺致シタイト思ヒマス

○矢部政府委員 農林省ノ者ガ居リマ
セヌカラ、私ガ代ッテ一應ノ説明ヲ致シ
タイト思ヒマス、只今ノ御尋ハ御尤ノ
ヤウニモ聞エマスガ、大正十三年ニ於
ケル豫算ハ一千萬圓以上ニモ上ッテ居
ル、之ヲ推定スルト云フコトハ必要ノ
ヤウニモ考ヘラレマス、併シ是ハ文化
ニ關係ノアル紙ノ原料デアアル、此邊ヲ

第五類第二號 關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄 第十三回

大正十五年二月十九日

一五

能ク考ヘナケレバナラヌ、又重要産業ノ原料デアルト云フコトモ能ク考ヘナケレバナラヌ、既往ノ經過ヲ簡單ニ申上ゲマスト云フト、戰爭前ニ於キマシテハ僅カ七萬噸内外ノ生産デアリマシタモノガ、大正十三年ニ於キマシテハ三十六萬噸モ作ルト云フヤウナ有様ニナリマシタ、現行稅率ノ下ニ斯様ニ發達シテ參リマシタノデ、文化ノ進歩ニ伴ヒマシテ中々日本内地ノ生産タケデハ間ニ合ハスト云フヤウナコトデ、製紙者ハ此點ニ着眼スル所ガアツテ、年々事業ヲ擴張シテ參ルヤウナ譯デアリマス、而シテ現在斯様ニ多量ノ輸入額ガアリマスガ、ソレハ必要ノモノガ入リマスノデ、之ヲ又防グト云フヤウナコトニナリマシテハ、一方ニハ故障ヲ來スト云フヤウナコトガアル、或ル程度迄是ハ今ノ處ハ許サナケレバナラヌイト思フ、是ガ多量ノヤウデアリマシガ、日本ノ生産額ハ需要額ノ八割五分ト云フモノヲ供給シテ、外國カラ入ルモノハ僅ニ一割五分ト云フ有様ニナツテ居リマス、是等ノ權衡ナドヲ考ヘマスト云フト、一概ニ止メルコトノ出來ナイ狀態ニアリマス、決シテ事業ノ方ヲ閑却シテ居ル譯デハナイ、事業ノ方ハ能ク見テ居ル、ソレデ現行稅率ノ下ニ斯様ニ發達シテ來タノデアリマシカラシテ、其邊モ能ク加味シナケレバナラスト思ヒマス、尙ホ加奈陀ノ「バルブ」ガ入ッテ來ル、ソレトノ關係ハドウ

デアアルカト云フ問題ニ付キマシテハ是亦大シタ問題デハナイヤウニ考ヘテ居リマス、加奈陀ノ西海岸ニ於キマスル所ノ此事業ト云フモノハ、會社ハ大キナ會社デアリマスガ、一ツデアリマシテ、生産額モ大シタモノデハナク、此全部ガ日本ヘ來ル譯デモナク、東海岸其他ニ向ッテ需要サレル額モ少クナイノデアリマシテ、其一部ガ參ルノデゴザイマシカラ、左様懸念スベキモノデハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレデ農林省ノ主管ノ者ハ居リマセヌケレドモ、此輸入ニ付キマシテハ常ニ注目ヲ拂ッテ居ルヤウナ譯ニ聞イテ居リマス○松本委員 只今矢部サンノ御答ニ依リマスト云フト、大分製紙工業ノ前途ニ付テ樂觀的ノ御話デアリマシタガ、成程現在ノ會社ノ生産其他ニ付テハ左様ナ點モナイデハアリマセヌケレドモ、併シ先刻來申上ゲマシタ此爲替ノ關係、或ハ加奈陀ノ投資ダトカ、或ハ値上リナドハ御承知ノ通り最初樺太ノ拂下ゲ値段ハ大正元年ニ於テ五錢ノモノガ、只今ハ——本年カラ其十倍ノ五十錢ニ相成ルト云フ譯デ、又皆伐ガ擇伐ニ變ツタ、即チ從來ハ片端カラ切倒セバ宜カッタモノガ、ソレヲ擇リ抜イテ伐取ラネバナラスト云フヤウナ關係デ、非常ニ生産費ガ高クナツテ居ルト云フコトガ現在ノ事實デアリマス、又過去ニ於キマシテモ不引合ノ結果トシテ、實際ニ於テハ我國デ必要デアアル所ノ數量

ハ七萬二千噸デアアルガ、七萬二千噸位ノモノハ供給ガ出來ルニモ拘ラズ、加奈陀、其他等ノ脅威ヲ受ケテ非常ニ操業ヲ休止セネバナラスト云フヤウナ事情デ、過去ニ於テ最近ノ事實トシテ脅威ヲ受ケテ居リマスルヤウナ次第デ、私共唯會社ノ成績ノ良イ上ニ更ニ成績ノ良イト云フヤウナコトヲ希望スルト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、併ナガラ官工場デアルト云フヤウナ場合ナラ格別、苟モ私設會社デアル以上ハ先ヅ引合ハナイモノハ作ラヌ、斯ウ云フ外ハナイノデアリマス、現在ノ狀態ヲ以テシタナラバ此「バルブ」ノ供給ト云フモノハ原料ノ供給ハ衰退ヲ來スデハアルマイカ、斯様ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ一方是ガ需用ノ方面ヲ見マスト云フト、年々歲々増加シツツアル狀態デアリマス、殊ニ此人造絹絲用トシテハ從來七八十萬圓入ッテ居ッタノデアリマスルケレドモ、更ニ現在ノ狀態カラ云フト、或ハ大日本紡績トカ、或ハ三井等デ之ヲ契約スルト云フヤウナコトニナリマスレバ、先ヅ明年アタリカラハ是ガ四五倍、即チ金額ニシマスト云フト四五百萬圓ノ輸入ヲ増加スルノデアラウト云フコトハ、目睫ノ間ニ迫ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、旁々此場合ニ於テハ暫定的ニモ幾分此「バルブ」ノ事業ト云フコトニ付テ相當ノ考慮ヲ廻ラスノガ、國策ノ上カラ至當デハナイカト斯様ニ考ヘマス、

又此紙ノ値段ト云フヤウナモノニ付テモ、原料ガ高クナレバ忽チニシテ紙ノ値段ガ高クナルカドウカト云フコトハ、是ハ洵ニ高クナラストハ言ヘイ、紙ハソレ——諸外國普遍的ノ市價ヲ有スルモノデアリマスガ、必シモ少シ位ノ「バルブ」ノ値段ガ假ニ上ツタト致シタ所ガ、之ニ依テ直グ様影響スルモノデハナカラウ、斯様ニ私共考ヘテ居リマス、此邊ニ付テハ別段御意見ヲ此場合承ル必要モアリマセヌガ、ドウゾ參考トシテ十分御考慮ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、更ニモウ一ツ承リタイノハ、「其ノ他」ト云フ中ニ晒シタモノト晒サヌモノト、或ハ人造絹絲用——斯様ナモノヲ分ケル必要ガアリハスマイカト私ハ考ヘテ居リマス、是等ニ付テハ當局ハ其必要ハナイト御認デアリマスカ、ドウカラ伺ッテ見タイト思ヒマス○矢部政府委員 「ニ」ノ「其ノ他」ノ中ヲ分ケル必要ガアルカドウカト云フ御尋デアリマスルガ、三百六十一號ノ「バルブ」ハ非常ニ需要ノ多イ、又生産モ大量生産ヲ以テヤルノデアリマシテ、成ベク關稅ト云フモノハ低イノガ宜イト云フノデ斯様ニ据置ニ致シマシタ、製造ノ方モ二分五厘ト云フ低イ程度デゴザイマシカラ、今ノ所種類ヲ分ケテ、段階ヲ附ケル程ノモノデハナカラウト考ヘテ居リマス、殊ニ人造絹糸ノ企業ノ如キハ、此稅率ヲ見マシテ計畫ヲ致シテ居ルノデ其先手ヲ打ッテ稅ヲ上ゲル

ト云フコトモドウデアラウカト思フ、
斯様ナモノガ供給ガ十分デナイト云フ
所カラ這入ッテ参リマスノデ、穩カニ考
ヘテ段々ニソレ等ノ締リハシテ行カナ
ケレバナルマイトハ思フガ、今需要ノ
起ル先ニ先手ヲ打ッテ行クト云フコト
ハ少シ穩當ヲ缺キハシナイカト思ヒマ
ス、勿論御注意ノ點ハ考慮シタイと思ッ
テ居リマス、決シテ種々ノ仕分ケニ付
テ閑却シテ居ルト云フ譯デハナイノデ
アリマス

○松本委員 私ハ先手ヲ打ッテ先ヘ高
クセヨト云フ意味デハナイ、兎ニ角人
造絹絲ノ「バルブ」ナドハ現在ニ於テ少
シク製紙業者ガ研究ヲスレバ十分ニ供
給ノ出來ルモノデアルト思フ、今ノ稅
率ニ依テハ普通ノ「バルブ」ハ容易デナ
イカラ、更ニサウ云フヤウナモノニ向ッ
テハ幾分高率ヲ課スルト云フコトニ依
テ、内地ノ人造絹絲用ノ「バルブ」ヲ獎
勵シテハドウカト申シタノデ、先手ヲ打ッ
テドウスウト云フ意味デハナイト云フ
コトヲ茲ニ釋明致シテ置キマス

○加藤委員長 ソレデ松本君宜シイデ
スカ——ソレデハ工藤鐵男君

○工藤委員 私モ紙ノ問題ニ付テ——
細カイコトハ兎ニ角、此「バルブ」ノ事
ニ伴ッテ相當我國ニ於テモ製紙事業ガ
發達シテ居ルヤウデアリマス、隨テ日
常吾ミガ使用スル紙ト云フモノハ相當
ナ數量ニ達シテ居ルノデアリマスガ、

民間ノ製紙事業ノ發達ニ逆比例シテ、
更ニ關稅ヲヨリ多ク上ゲテ居ルト云フ
コトハドウ云フ譯デアルカ、是ハ三百
六十二カラ三百六十四マデノ間ニ於テ
可ナリニ上ッテ居ルヤウデアリマスガ、
果シテ斯クマデニ此紙ニ付テ政府ガ保
護關稅ヲ賦課シナケレバ、内地ノ此製
紙事業ノ發達ヲ保ッテ行クトガ出來
ナイト云フコトニナリマセウカ、一寸
此點ヲ伺ヒマス

○矢部政府委員 只今ノ御尋ハ最モ肝
要ナ御尋ト思ヒマスノデ、ソレ等ノ點
ニ付テハ大分研究ヲ致シマシタノデア
リマス、三百六十二ノ印刷料紙ノ中ニ
付キマシテモ、從來最モ日本ニ於テ需
要アリ、且ツ文化事業ニ必要ナル紙ノ
「乙」ノ「イ」ト云フモノハ据置ト致シマ
シタ、是ハ最早百斤一圓ノ稅率ノ下ニ
置キマシテ、十分製造ノ出來ルモノデ、
此值段ノ上ルト云フコトニ付テハ寸毫
タリトモ許スベカラザルモノト考ヘマ
シタ、ソレカラ「一」ノ「ア」トペーバ
「一」ハ是ハ戰爭中起リマシタ事業デア
リマシテ、近來獨逸品其他東洋ニ入ッテ
來ル——此事業ハ非常ニ衰弱ニ陥ッテ
居ルノデ種々研究致シマシタ結果、六
十錢マデ上ゲルコトノ必要ナルコトヲ
認メマシタ、其他ノ紙ニ付キマシテハ、
種類ニ依リマシテ一割、或ハ一割五分
程度ノ必要ヲ認メマシタ、大體ニ於テ
此製紙用ノ「バルブ」ト云フモノガ自由
デアルナラバ、紙ノ方ハ多少一割五分

位ノ保護ヲ加ヘルコトハ必要デアルマ
イカ、御承知ノ通り日本ノ紙ノ發達ト
云フモノハ十分發達シテ居ルノデ、
年々歲々増加スル需要ニ對シテソレゾ
レ皆擴張ヲ行テ居ル、併ナガラ此擴張
ノ出來ルノハ何ノ爲ニ出來ルカト云フ
ト、古イ固定資本デ持ッテ居ルカラ出來
ルノデアル、此點ニ付テハ相當考慮ヲ
拂ハナケレバナラヌ、多少ノ保護ヲ要
スルト考ヘテ居リマス、而シテ值段ガ
是ガ爲ニ上ルカト云フト、今マデ大藏
大臣始メ原則トシテ申上ゲタ如ク、内地
ノ生産ガ十分發達致シテ居リマスカラ
シテ、少シノ騰貴ト云フモノヲ見込
ンデ、外國品ノ現在アル所ノ輸入ヲ防グ
コトガ出來ヤウト考ヘテ居リマス、隨
分發達シタル今日ニ於テ斯ク多額ノ製
品ノ輸入ヲ見ルト云フコトハ、貿易ノ
均衡カラ見テモ考ヘナケレバナラヌ次
第デアルト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○工藤委員 私ハ専ラ消費者階級ノ方
ニ立ッテ考ヘテ見マス、「バルブ」ノ問題
ハ先刻同僚ヨリ御話モアッタガ、日本ノ
如キ石炭ノナイ國ガ「バルブ」ヲ造ッテ
紙ヲ製造シ、之ヲ一般ノ需要ニ供給ス
ルト云フコトハ洵ニ結構ナ事デアリマ
スルガ、若シ日本ガ、石炭ノ無イ此國
ガ、僅ニ木材其他——木材ニモ種々ア
リマスケレドモ——薪炭ノ材料スラ外
ニ求メナケレバナラヌト云フ國ハ、「バ
ルブ」事業ヲ程度ヲ超エテ保護シタ場

合ニ於テハ、所謂木材ノ饑饉ガ起ッテ、
吾ミノ生活ヲ脅威スル、嘗テハ北海道
ニ於テ到ル處「バルブ」製紙ノ事業ガ
起ッタ爲ニ、北海道ノ或ル方面ノ森林
ハ、殆ド荒廢シテ居ルト云フ事實モ認
メザルヲ得ナイ、更ニ近來ハ樺太ニ至ッ
テ、此「バルブ」事業ノ盛ナルガ爲ニ、殆
ド濫伐シテ、樺太ノ森林行政ノ上ニ一
大支障ヲ惹起シテ居ルヤウナ狀態デア
ル、併シ紙ノ供給ト云フ事ハ極メテ吾
吾ノ生活ニ必要デアル、殊ニ文化生活
ノ上ニ缺クベカラザルモノデアルカラ
ラ、此點ニ對シテハ私共ハ或點迄忍ブ
ンデアル、忍ブノデアルガ、サレバト
云ッテ此「バルブ」業者ヲ保護スル爲ニ、
此日用ノ食糧品ニモ次グ如キ紙ヲ——
飽迄保護關稅ニ依テ此紙ノ製造業者ヲ
守立テナケレバナラヌト云フコトヲ私
共ハ諒解スルニ苦シム、私共ハ新聞社
ニ永ク居リマシタガ、此紙ノ事ニ付テ
ハ何時モ問題ニナルノデ、新聞社ノ方
ニ聯合ト、供給者タル紙ノ會社トノ間
ガ或ル特典ヲ得ルダケデ、一般ノ消費
者ハ中々其特典ヲ得ラレナイ、サウシ
テ、製紙事業ニ從事シテ居ル者ハ、資本
ガ有利ニ働クト云フ意味ニ於テ、相當
ニ是ハ利益ヲ擧ゲテ居ル、デスカラ「バ
ルブ」ノ問題ニ至リマシテハ、ドウナル
ノカ知リマセヌケレドモ、私ハ「バル
ブ」カラ出發シタ一般ノ需要ノ多イ紙
ノ供給ニ付テハ出來ルダケ低イ值段

デ吾ハ手ニ入レタイト考ヘテ居ル、
是ハ若シ此紙ガ一割若クハ八分位デモ
節スルコトガ出來タナラバ、恐クハ日
本ノ官廳ノ費用サヘモ、節約ガ出來ル
ガラウト思フ位ナモノデアル、此統計
ニ依テ見マスレバ、例ヘバ筆記用紙ノ
如キモ、二百何十何萬圓カラ輸入ガア
ルノデアリマスガ、若シ是ガ適當ナ方
法ニ依テ、此關稅ニ伴フ所ノ今後ノ紙
價ノ騰貴スルコトヲ防遏スルダケノ方
策ガアリマスレバ、私ハ無條件デ賛成
致シマス、政府委員ニ此關稅ニ伴フ物
價ノ騰貴ノ事ヲ伺ヒマスレバ、極メテ
輕微ナル影響ノ如ク考ヘテ居ラレマ
スケレドモ、輕微ナル影響ヲ以テ保護
スルノデアアルナラバ、寧ロ保護セザル
ニ如カズ、要スルニ輕微ナル影響デナ
イコトヲ豫期スル爲ニ、保護スル必要
ガアラウト私共ハ考ヘテ居ル、若シ關
稅ノ上ゲ下ゲニ依テ、何等生産者ヲ保
護スルニ足ラズ、即チ内地ノ生産品ハ、
値段モ上ラズニ、供給モ裕ニ出來ルト
云フコトデアアルナラバ、何ノ必要ガア
テ保護關稅ヲスル必要ガアルカ、故ニ
吾ハ關稅政策ハ直ニ吾ハノ生活ニ轉
嫁シテ來ルモノト考ヘルノデアリマス
ガ、是ハ他ノ機會ニ讓ルコトニ致シマ
ス、殊ニ「アートベーパー」ノ如キ、二圓
四十錢カラ六圓六十錢ニ上ゲルト云フ
ヤウナ、殆ド二倍バカリモ上ゲテ見タ
リ、又筆記用紙ノ如ク——筆記用紙ト
云フモノハ、出來ルダケ廉クシナケレ

バナラスノニ、是レ亦三圓十五錢カラ
四圓五十五錢ニ上ゲテ居ル、又圖畫ノ
用紙ノ如キハ、三圓五十五錢ノモノヲ
七圓五十錢ニ上ゲテ居ル、社會政策ナ
ドヲ論ズル場合ニ於テハ、此紙ノ問題
ナドド云フモノハ、ドウシテモ食糧品
ニ次イデ考ヘナケレバナラヌ程、文化
生活ニ意義ノアルモノト考ヘテ居ルノ
ニ、政府ノ當局者ハ一定ノ根據ナクシ
テ之上上ゲタト云フコトハ、私共ハ之
ニ對シテ相當ナル御答辯ヲ戴イテ、參考
材料ニ致シタイト思ヒマス、今少シ根
據アル事ヲ御示シ願ヒタイ、内地ノ産
業、例ヘバ「アートベーパー」ヲ造ル會
社ハ斯ウ云フ狀態デアッテ、供給ハ斯ウ
デアアル、或ハ筆記用紙ヲ製造スル會社
ハ斯ウ云フ狀態デアッテ、之ヲ保護シナ
ケレバ會社ガ立行カナイ、或ハ圖畫用
紙ノ如キモサウデアアル、斯ノ如ク澤山
アルノデアリマスカラ、之ヲ商工省ナ
リ、若クハ大藏省ノ方デモ宜シウゴザ
イマスカラ、モウ少シ徹底シタ事ヲ——
此紙ヲ使フ者ハ、多クハ筆或ハ鉛筆
ヲ以テ生活シテ居ル者ガ澤山アルノ
デ、之ヲ押ヘテ居ルノデアリマスカラ、
今少シ明確ニシタ方ガ、此趣旨ヲ徹底
スル上ニ宜カラウト思ヒマス、御答辯
ヲ願ヒマス

○中井商工技師 私カラ御答申上ゲマ
スガ、先ヅ第一「アートベーパー」カ
ラ申上ゲマス、「アートベーパー」ハ我
國ニ於キマシテハ、富士製紙株式會社、
三菱製紙株式會社、日本加工製紙株式
會社等ニ於キマシテ生産サレテ居ルノ
デアリマシテ、大體大正十三年度ニ於
キマシテ、約一千萬封度、約四十萬圓ノ
生産ガアッタノデゴザイマス、而シテ輸
入ハ大正十三年度ニ於キマシテ三百七
十萬斤デ約九十萬圓ノ輸入ガアリマシ
タノデゴザイマス、斯様ナ狀態デアリ
マシテ、我國ニ於キマシテモ相當ノ生
産ガゴザイマススケレドモ、奈何センマ
ダ新規工業デゴザイマシテ、輸入品ノ
脅威ガアリマスノデ、思フヤウナ利益
ヲ上ゲルコトノ出來ナイヤウナ狀態ニ
アルノデアリマス、ソレデ各種ノ事情
ヲ考慮致シマシテ、今回ノヤウナ——
聊カ急激トハ思ヒマススケレドモ、每百
斤六圓六十錢ノ關稅ニ改正シテ戴キタ
イト云フ、此改正案ヲ提案致シタ次第
デアリマス、ソレカラ三百六十三ノ筆
記用紙デゴザイマスガ、是ハ我國ニ於
キマシテモ、三菱製紙株式會社、王子製
紙、富士製紙、乾製紙等ニ於キマシテ、
相當ノ生産ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、大正十二年——是ハ十三年ガ分ラ
ナイノデアリマス、大正十二年デ申上
ゲマスガ、約一千六百萬封度、三百七十
萬圓ノ生産ガアルノデアリマス、併シ
我國ニ於キマシテ生産致シマス所ノ筆
記用紙ハ、主トシテ安イ、ドチラカト申
シマスト下等品ガ多イノデアリマス、
ソレデ上等ナル値段ノ高イ筆記用紙
ハ、現在主トシテ輸入ニ俟テ居ルノデ

アリマス、ソレハ何故カト申シマス、
矢張現在ノ關稅デハ、内地ニ於キマシ
テソレ等ノ優良品ヲ造リマシテモ、採
算上引合ヒマセヌノデ、隨テ其安イ物
ヲノミ製造致シテ、高價ナ物ハ造ラヌ
ト云フ狀態ニ在ルノデアリマス、ソレ
デ今回ハ其消費ノ狀態モ考ヘマシテ、
比較的的低率ナ一割五分、每百斤四圓五
十五錢ト云フ提案ヲ致シマシタ次第
デアリマス、次ニ圖畫用紙デゴザイマ
スガ、是ハ主トシテ三菱製紙株式會社ニ
於テ生産サレテ居ルノデアリマス、是
ハ統計ノ徵スベキモノガアリマセヌノ
デ、能ク分リマセヌデゴザイマスガ、相
當ノ生産ハアルノデゴザイマス、輸入
額ハ大正十三年ニ於キマシテ、約三十
萬圓ト、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
ス、是モ矢張筆記用紙ト同ジ事デアリ
マシテ、中學校トカ小學校トカデ使
マス安物ノミ生産サレテ居ルノデアリ
マシテ、優良品ハ矢張輸入ニ俟テ居ル
ト云フ狀態デアリマス、今回ノ引上ゲ
マシタ理由モ、是等ノ優良品ヲ内地ニ
於テ生産サセタイト云フ趣旨ニ出タノ
デアリマス

○工藤委員 御答ハソレ以上餘リ根據
モ無いデセウカラ、其位ヨリ出來マス
マイ、私等ハ其位ノ根據デハ、ドウモ
チット盛リ方ガ高イヤウニ思フノデア
リマスガ、殊ニ此製紙會社ニ付テハ、ド
ウデセウ、ドウ云フ利益配當ノ狀態デ
セウカ、利益配當ニハ唯單ニ考課狀ノ

利益タル、利益配當バカリデナイ、重役ノ收入モ、其他重役ノ賞與金モアルノデアリマス、其他種々ノ事ニ於テ利益ガアルデアラウト思ヒマス、私共ノ見タ所デハ、餘リ利益ガアリ過ギル、過去ニ於テモ相當儲ケ過ギテ居ル、此以上關稅政策ニ依テ、私共ハ高イ金ヲ使ッテ生活シナケレバナラヌカ、之ガ文化生活ナリト云フコトハ、餘リニ私共ノ犧牲ハ貴イヤウニ思ヒマスカラ、會社ノ狀態ヲモウ少シ説明シテ戴イテ、三會社ノ先ヅ第一「アートペーパー」ハドウ云フ狀態ニナッテ居リマス、或ハ若シ十年間ノ平均デモ分ッテ居レバ尙ホ宜シ、何程製ツタカ伺ヒタイ、斯ウ云フ種類ノ物ヲ製ルニ付キマシテハ、相當統計ニ依テ内地ノ消費額ト隨テ生産額ト、隨テ是ダケ不足ニナル、需要ノ値段トシテモ此位ノ程度ナラバ宜カラウト云フ、モウ少シ役所ノ仕事トシタラ徹底ノ材料ガアルデアラウト思ヒマス、モウ少シ根據ヲ御示シニナラヌト、討論ノ際ニモ議論ガ多岐ニ互ルデアラウト思フ、願クハ此質問ノ際ニ詳細ニ答辯アラントヲ希望致シマス

リマシテ「アートペーパー」ノ利益ノ狀態ヲ推測スルト云フコトハ、少シ無理ナヤウニ考ヘルデアリマス、成程富士製紙、三菱製紙、何レモ約一割五分見當ノ配當ハ繼續シテ居ルヤウデアリマス、デアリマススケレドモ、ソレハ多種ノ製品ニ於キマシテ利益ヲ舉ゲテ居ルノデアリマシテ、決シテ「アートペーパー」等ノミニ於テ利益ヲ舉ゲテ居ルノデハアリマセヌ、日本加工製紙株式會社ト申シマス、此「アートペーパー」專門ノ會社デゴザイマス、之ニ就テ見マス、會社創立以來一回モ配當ハ致シテ居ラヌノデゴザイマス、サウ云フヤウナ狀態デアリマシテ、今回ノ改正ヲ提案致シマシタ次第デアリマス、正ニ筆記用紙デゴザイマスガ、是モ筆記用紙ダケヲ單獨ニ生産致シテ居リマス工場ガアリマセヌノデ、會社ノ配當等ニ依テ筆記用紙ノ利益ヲ推測スルト云フコトハ、少シ困難デアラウト思フノデアリマス、圖書用紙モ同ジ譯デゴザイマス、主トシテ先程申シマシタ通り、内地ニ於キマシテハ優良品ハ生産ヲ致シテ居リマセヌノデ、今回ノ改正ハソレ等ノ優良品モ内地デ生産サセヤウト云フ趣旨ニ出タノデゴザイマス

○倉元委員 議事進行ニ付テ……

○工藤委員 私ノ質問ヲ繼續シテ——ソレカラ議事進行モ結構デス

○加藤委員長 倉元君

○工藤委員 發言中デモ宜シウゴザイ

マスノカ

○加藤委員長 議事進行デハ致方アリマセヌ

○倉元委員 私ハ委員長竝ニ政府ニ御相談申シタイ事ガアル、今日迄委員會ハ十何回ノ開會數ニナッテ居リマスガ、委員會ノ進行ヲ見ルト、遅々トシテ進マヌヤウナ感ガアル、今工藤君ノ御質問ニ對シマシテモ、御答ニナリマスル所ガ、甚ダ十分ニ委員諸君ニ徹底スルダケノ材料根據ヲ以テ御話ナッタハ、受取レヌヤウナ節ガアル、兎モ角モ産業上經濟上ニ一ツノ革命ヲ與ヘルト云フ位ノ事件ト見テ、此關稅委員會ト云フモノハ十年振ノ大事ナモノデアアル、デアルカラ十分ニ委員ニ材料ヲ豐富ニ御與ヘ下サラネバナラヌ、サウスレバ隨テ質問モ亦簡單ニ濟ムト思フ、ソレヲ何回要求シテモ十分ナル材料ヲ御與ヘ下サラヌト云フコトハ、甚ダドウモ政府當局ハ不深切デハナイカ、私共ハ甚ダ勝手ナ御願デスケレドモ、此別冊トシテ參考書ヲ御渡シ下サイマシタ此對照表ノ如キモ、備考欄ノ各目ニ付テノ關稅收入ノ増減、生産額等ヲ備考欄ニ御書き下サイマスレバ、譯ナク是ハ大體ノ見當ガ付クノデアアル、サウスレバ之ガ果シテ適當デアルカ不適當デアルカト云フ判斷ニモ迷ハナイ、ケレドモ唯此參考書ハ、前ノ關稅額ト今回ノ改正ノ關稅額ノ比較ヲ此處ニ舉ゲラレタノミデ、之ガ判斷スルノ材料トナル

ベキモノハ、政府ハ一ツモ與ヘテ下サラナイ、私ハ先日材料ノ一ツトシテ農產物ト他ノ生産品トノ關係ヲ伺ッタガ、關稅收入千九百幾萬圓、ソレカラ十五年度ノ八百何十萬ト云フ、之ニ對スル歩合トカ、此處ニ御出シ下サッタ物ハ、全ク私ノ要求シマシタノト別物ガ來テ居ル、ドウ御取違ヘニナッタノカ、是デハ私共審議ヲ進メル上ニ於テ大變困難デアアル、委員長ハ此審議ヲ御進メニナル點ニ付テ、何ト御考ニナッテ居ルカ、私共是デハ甚ダ不十分デアルト思フ、委員長加藤君ハ、前ノ四十三年ノ關稅ノ審議ノ時ニハ、貴方モ深ク御關係ナサッテ、其時ノ狀況モ御承知デアラウト思フガ、今回ノ如ク材料ノ不十分ナル委員會ハ私ハアルマイト思フ、此材料ニ對シテモウ少シ政府ハ深切ニ、成ベク吾ミガ參考トシテ十分判斷シ得ラルル材料ヲ吾ミニ御與ヘ下サルコトガ、政府トシテ正當ナ處置デハナイカト私ハ考ヘル、此點ニ付テ委員長ト政府當局ト能ク御打合せ下サレテ、モウ少シ判斷材料ヲ御與ヘ下サラントヲ私ハ希望致シマス

○加藤委員長 倉元君ノ御要求ニ對シテハ、前回以來政府當局ニ、出來得ル限リ材料ヲ御與ヘ下サイト云フコトヲ要求シテアルノデアリマスガ、尙ホ倉元君ハ自分ノ要求ニ對シテ不十分デアルト云フヤウナ御説デアリマスガ、今ノ倉元君ノ御要求ニ對シテ、政府ハ相當

ノ材料供給ガ出來マスカ、出來ルナラバ御與ヘテ願ヒタイ

辯答ケハ誠心誠意デヤツテ居ルカラ、ソレデ審議ヲ進メヨト云フコトハ、無理デハナイカ、モウ一ツ附加ヘテ政府當局ニ申上ゲマスガ、サウ云フ材料ヲ吾

ヲハ出來ナイ、輸入費關係ニ對シテハ、深切ナル參考材料ヲ戴イタノデアリマス

ナルモノニ付テハ、拵ヘテアリマスカラ、聽テ御手許ニ出スコトニ致シマス

○柵瀨政府委員 今倉元君ノ御發議ハ、私ハ至極御同感デアリマシテ、願クバ諸君ノ連日ノ御勵精ニ依テ、此處マデ議事ガ進行シテ參リマシタケレドモ、ドウカ一日モ早ク尙ホ御審議ヲ進

レハ毛頭御無用ノ御心配デアル、吾ガ營業者、關係者ニ洩ラシテ、審議ノ邪魔ニナルコトハ斷ジテアリマセヌ、ドウ

ラヌ、ソレヲ比較對照シナケレバ審議ハ出來ナイ、輸出費關係ニ對シテハ、深切ナル參考材料ヲ戴イタノデアリマス

○星島委員 毛織、製紙、染料、鐵、油脂、時計、是等稅率ノ改正ニ依テ、關係ノ會社ノ營業ニ如何ナル影響ヲ及ボスカニ付テ、參考ノ材料ヲ願ヒマス、出來マスレバ、序デニ軍需工業ガ此稅番ニ

切ニ誠心誠意ヲ以テ、諸君ノ御質問ニ對シテハ御答ヲ致シテ居ル譯デアリマス、同時ニ御要求ノ參考書類等ニ對シ

カ其點ハ御心配ノ無イヤウニ御願致シマス

シテ戴キタイト御願シタノデアリマス、所ガ政府委員ハ尤モデアルト云ッテ、今其所デナサツテ居ルヤウニ、首ヲ

○工藤委員 私ハ紙ノ事ハ知ツテ居ルガ、他ノ事ニハ一向素人デアリマス、政府カラモ御答辯ニナリマシタガ、私ハ

テ、出來ル限リ御便宜ヲ與ヘテ居ル積リデアリマス、今倉元君ノ御要求ニナリマシタモノハ、小麥ニ關スルモノデアリマスカ

○倉元委員 私ノ御要求シマシタノハ、農産物ノ增收ガ、全體ノ幾割ニ當ルカト云フノデアアル、然ルニ御出シ下サツタモノヲ見ルト、全然異ツタ一條ノ數字

出テ來テ居リマス

○柵瀨政府委員 本會開會ノ當初、星島君ヨリモ稍同様ノ御要求ガアリマシタ、ソレニ對シテ斯様ニ御答シテ置キ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ウ私ノ方デ、誠心誠意御願シテ居ル、答

テモ、ドウシテモソコニ來ナケレバナ

シテ居リマセヌ

○長田委員 只今柵瀨次官ヨリ御深切ナル御答辯ヲ拜聽シテ、深く満足ヲ致シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマ

○倉元委員 政府ハ此材料ヲ出ストモ、出サストモ仰シヤラヌ、御答辯ヲ誠心誠意、御深切ニ爲サルコトハ認メマ

シマス、然ラバ先般私ガ御依頼致シマシタガ、此關稅定率法ヲ審議スルニ付テ最モ大切ナル點ハ、所謂輸出入ノ表

ト、内地ノ重要物産——番號表ニ掲ゲテアル物ノ生産量、價格、生産費、或ハ國內ニ於ケル消費ノ高ト云フヤウナ

事、ソレハ關稅定率法ノ目的ガ内地重要産業保護デアル、此點カラ考ヘテ見

ス、併シ全體ヲ通ジテ舉ゲテ居ル、特殊「アートペーパー」ノミガ保護ノ狀態ニアルト云フ事デアッテ、我國ニ必要デアルカラ保護ナサルト云フノナラバ宜シイノデアアルガ、筆記用紙デモ、圖書用紙デモ、之ヲ作ッテ供給シテ居ル會社ガ、一割五分モ配當シ、重役ノ不當ナ費用ヲ除イタナラバ、三割五割モ配當ノ出來ル狀態ニアル、之ヲ看過シテ置イテ、吾ミニ高イ税金ヲ課スルト云フコトハ商工政策トシテハ宜イカモ知レヌケレドモ、國民ヲ基礎トスル經濟政策トシテハ、是位損ナモノハナイ、故ニ吾ミヲモット徹底サセルダケノ諸材料ガ政府ニアルナラバ、吾ミハ之ヲ審議スル上ニ於テ甘ンジテ政府ノ調査ヲ信用スルノデアリマス、然レドモ多クノ調査ハ倉元君ニ依テ稟書サレタ如ク、洵ニ吾ミニ納得ノ行カナイ事ガアル、吾ミガ國民ニ之ヲ説明スル時ニ、アナタ方ノ通りノ話ヲスレバ、國民ノ反對ヲ受ケル、隨テ政府ノ政策ヲ國民ニ徹底サスコトハ出來ナイ、今ノ政府委員ハ、微ミタル事務官デアアルカラ、國家ノ大問題ハ知ラヌト言フカモ知ラヌケレドモ、政務官モ居ラレルコトデアアルカラ、御相談ニナッテ、モウ少シ立派ナ基礎ヲ示シテ戴カナケレバ困ル、デアアルカラ紙ノ問題ナドモ、若シ製紙會社ガ二割、三割ノ配當ヲシ、關稅ヲ高クシテ國民ノ必需品ヲ高メテ、吾ミノ收入ノ少ナイ者ノ生活ヲ脅シテ居ル、私ハ此點ニ

付キ基礎ヲ伺ヒタイ、「アートペーパー」一圓四十錢カラ六圓六十錢ニシタ、或ハ筆記用紙三圓十五錢カラ四圓五十錢、三圓五十五錢カラ七圓五十錢ニシタノハ、總テ其品物ヲ——優良品ヲ作リタイ爲ニ保護スルコトハ洵ニ宜イノデアアルガ、若シ日本デ安クシテ間ニ合フモノヲ使ハセルナラバ、勤儉力行ニモナルノデアアラウ、吾ミニハ算盤ハ分ラヌガ、ドノ會社ハ主トシテ斯ウ云フ物ヲ造ッテ居ル、此會社ハ斯ウ云フ狀態ニアル、依テ之ヲ保護シナケレバナラスト云フコトデナケレバ、吾ミハ納得ガ出來ナイ、ドウモ政府委員ノ今ノ答辯ノオ方ハ思切ッテ責任ヲ以テ御答ガ出來ナイヤウデアアルカラ、政務官カラ思切ッテ御答ヲ願ヒタイドウゾ此事ニ付テ、モウ少シ根據ノアル所ヲ伺ヒタイ

○棚瀬政府委員 御尋ノ事ハ、要スルニ課稅技術ニ屬スル事デアリマシテ、大體ニ於テ兎モ角日本ニ生産ガ無イカラ輸入ガ多イ、其輸入品ノ爲ニ日本ノ工業ガ發達シナイト云フヤウナ物ハ、ドウカ輸入品ニ代ヘルダケノモノガ、保護ニ依ルニアラザレバ、生産ガ出來ナイ、斯ウ云フ總テノ大勢ヲ見マシテ、其稅率ヲ盛ツタノデアリマスガ、其稅率ノ個々ノ内譯ハ、所謂課稅技術ニ屬スル事デアアルカラ、是ハ技術者ノ方カラ御答スル方ガ一番要領ヲ得ラレルト思ヒマス

○工藤委員 課稅技術ノ根本ニナルベキ材料ヲ私共ハ要求シテ居ル「アートペーパー」ノ需要ハ、ドレダケ國ニ於テ使用サレテ居ル、而シテ内地デ生産スル物ハドレダケデアアル、ドウシテモ無ケレバナラヌ物ハ外國カラ買ハナケレバナラスト云フコトデアレバ、之ニ對シテ重稅ヲ賦課スル必要ハ無イノデアアルカラ、其課稅技術ノ根柢ニナル一定ノ資料ヲ示シテ吳レト云フノガ吾ミノ要求デアアル、此會社ハ斯ウ云フ狀態デ、現實ニ斯ウ保護シナケレバ會社ノ利益ガ上ラヌト云フ工合ニ、少シ徹底サシテ戴カナイト、審議上困ルノデアリマス

○飯塚委員 私ハ今ノ何處ノ會社ガ儲カラナイトカ儲カルトカ云フ事ハ、其答辯自身ガ非常ニ惡イ感情ヲ持ッテ思フ「アートペーパー」ノ會社ガ儲カルトカ儲カラヌトカ云フカラ、色々ナ問題ガ起ル「アートペーパー」ヲ捨ヘル會社ガ或ハ博奕ヲシテ儲ケルカモ知レヌ、三割五割ト云フ配當ガアルカモ知レヌ、儲ラヌカラ保護スルト云フ事ハナイ筈ダト思フ、此儲カル儲カラナイ事ヲ標準トセズ、日本ノ工業ノ程度ニ於テ、又技術上ノ關係ニ於テ、之ハドウシテモ日本ノ方ガ外國ニ比シテ能率ガ低イトカ、之ダケハ保護スル必要ガアルト、斯ウ云フ答辯ヲシナイト、色々ナ疑惑ガ起ッテ、ソレカラソレト議論ガ起ッテ來ルト思フ、至ッテ答辯ガ下手デア

ル儲カル儲ラヌト云フ事ヲ決シテ此間ニ挾ンデハナラスト思フ、日本ノ工業ノ現狀ニ於テ、是ガ生産費ガ高イカラ、ソレハ幾ラ々々ニシタイノデ三圓盛ッタノデアアルト、斯ウアリタイ、答辯ハ如何ニモ下手デアアル、之ハ政務官ニ於テ能ク技師ニ訓戒ヲ加ヘラレテ、答辯ノ方法ヲ一定シテ貰ヒタイ、又技術官モモット自分ニ材料ガアレバ、宜イ加減デナク、此程度デ宜カラウト思ヒマス

云フヤウナ事デナク、技術家ガ算盤ニ當ッテ三圓ト云フモノヲ盛ツタノデアアル、三圓ナラ三圓ガ何處カラ出タト云フ算盤ノ根據ヲチャント明ニ示スナラバ、誰モ文句ハナイ、此程度デ宜カラウト思ヒマシタ杯ト、ソシナ曖昧ノ説明ト云フモノハアルベキ筈ハナイ、モット根據アル所ヲハッキリ御答下サルナラバ、ズン／＼進行スルト思ヒマス、疑ノアル答辯ヲ致シマスカラ、全部ノ表ヲ出シテ吳レト云フヤウナ事ニナル、コチラデ質問スル時ニハ、アナタ方ノ持ッテ居ル其風呂敷包ヲ全部出シテ答ヘタナラ立派ニ氷解スル、モット大膽ニ、本當ニ信ズル所ヲ御答辯願ハナケレバ、ソレカラソレヘト疑ガ起ッテ來ル、大藏大臣ガ過日言ッタヤウニ、稅率ヲ盛ツタノハ、稅ノ原則ニ依テ盛ツタノデアアルト云フヤウニ、モウ少シ答辯ヲ上手ニシテ貰ヒタイ、而シテ答辯ノ方法ヲ畫一的ニシテ貰ヒタイ、是ハ政務次官カラ關係技師ノ方ニ御注意ヲ願ヒ

タイ

○工藤委員 ソコデ一寸此課稅技術ヲ伺ガフト思ッダガ、答辯技術ヲ定メシ相當ナ御答辯ヲ願ヘルト思ヒマスガ、ソレデハ一ツ斯ウ云フコトデ御願ヒシタイ、「アトトベ」ト云フテ居ル會社ト、相當生産高ノアル會社ノ營業狀態、ソレカラ筆記用紙或ハ圖書用紙、是等モ先程名前ヲ擧ゲテ御話ガアッタヤウデアリマスガ、此現狀ト我國ニ於ケル消費價額、外國品ヲ輸入シナケレバナラヌト云フ理由、詰リ私共消費者トシテノ立場カラ表ヲ作リタイト思ヒマス、先程申上ゲタコトデ大體御答辯ヲ得ルト思ヒマスガ、此意味デ表ヲ御拵ヘニ願ヒタイト思ヒマス、尤モ是ハ討論ノ時迄宜イノデス

○中井商工技師 只今飯塚委員ノ御注意ニ依リマシテ、例ヲ「アトトベ」ト「ニ」取リマシテ御答申上ゲマス、「アトトベ」ノ内地品ノ生産品ハ、毎百斤二十七圓八十四錢、ソレデ其事業ニアリマスル固定資本ノ償却費ヲ別ニ見積リマシテゴザイマス、固定資本ガ大體……(ソレハ後ニシタ方宜イ)ト呼フ者アリ)

○奥村委員 一寸議事ノ進行ニ付テ一私ガ先程三百一織物ニ付テ質問致シ、サウシテ最後ノ質問ニ於テ、内地品ト外國品ト比較シテ内地品ノ純毛ノ物ニ付テ九十圓、今度ノ改正率或ハ九十七圓五十錢、或ハ毛綿ノ方ニ於キマ

シテ六十圓トカ、三十二圓六十錢ト云

フヤウニ算出サレテ居ル、算出シテ外國品ニ掛ケヤウトスルト、比較品タル内地ノ品物ハ、内地ノドコノ會社製ガドレダケ保護サレテ、其結果ドウナルト云フ質問ヲシタノデアリマス、審議ノ時ニ於テ必要ナ所ガアルノデ質問シタノデスガ、其時ニ政府委員ノ答辯ハ十分デアリマシタノデ、先程廊下デ工務局長ニ逢ッテ話シマシタラバ、ソレデハ表ヲ出サウト言ッダ、所ガ其本家ノ大山技師ハ、ソレハ發表スベキ限リデナイト言ッダ、私ノ此要求ハ新シイコトデナイ、過日飯塚委員ニ出サレタノト同ジ物デアル、飯塚委員ニ對シテ織物ノ方ハ發表スルト仰ラレ、本員ノ基本數字ノ表ハ、先程非公式デハアリマスルガ、發表スルト言ヒ、次ニ又發表スルノ限リデナイト云フコトハ、甚ダ迷惑デアリマスカラ、議事ノ進行ニ名ヲ籍リ此表ヲ出サレルヤウ希望致シマス

○棚瀬政府委員 今ノ御話ニ依リマス、工務局長ガ差出スト言ッダガ、此度ハ出ス限リデナイト言ッダ、併シソレハ政府委員タル工務局長ガ左様ニ差上ゲルト申シマシタ以上、出スモノト思ヒマス

○奥村委員 先程ノハ非公式デハアリマスカラ、サウ速記録ニ止メテ戴ケバ宜イ
○長田委員 三百六十一號ニ付テノ質問ガアリマスガ、農林省ノ御方ハ出テ

居リマスカ——ソレデハ此第一ニ大藏

省ノ政府委員ニ聞キマスガ、三百六十一ニ製紙用「バルブ」、二ト書イテアマリスガ、其中心ハ人造絹絲「バルブ」モ這入ッテ居リマスガ、私ハ人造「バルブ」トデモ書イテ宜イト思ヒマスガ、持ニ書カナイ理由ガアルナラソレヲ聞キタイ、ソレカラ内地ニ於ケル「バルブ」ノ製材ハ樺太、北海道方面ニ仰イデ居ル、國家カラ木材ノ拂下ヲ受ケテ拵ヘルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、然ラバ其北海道、樺太ニ於ケル所謂木材ハ是カラ以後何年間位支持出來ルト云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、恐ラク製紙用モ人造絹絲用モ長足ノ進歩ヲ爲シテ來ルト思ヒマスガ、此場合農林當局ニ於テハ何カ方策アリマスガ、對策ヲ講ズル意味ニ於テ、何箇年間支持セラレ、幾年後ニハ切ッダ後ガ元ノヤウニナルト云フ成算ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、此點ニ對スル施設及其御計畫等ガアレバ、此際御發表願ヒタイ

○窪田農林技師 第一ノ御質問デアリマスガ、製紙用ト人造絹絲製造用「バルブ」、是ハドチラモ化學「バルブ」ニ屬スルモノデアリマシテ、其區分ハ殆ド付キ兼ネルヤウナモノデアリマス、隨テ區分ガ明瞭ニ付クナラバ分ケテモ宜カラウト思ヒマスガ、今ノ所區別ガ付キ兼ネルヤウニナッテ居リマス、斯ウシテ置イテモ大シタ差支ハナイ、兩方ニ使ヘルモノデアリマスガ、其點ハ別

段支障ニハナルマイト思ヒマス、ソレカラ我國ノ「バルブ」事業ガ段々發展シテ來マシテ、之ニ要スル資材ノ事ニ付テ御質問デアリマシタガ、此事ニ付キマシテハ、農林當局ノ方デモ相當深イ考慮ヲ拂ッテ居ルノデアリマシテ、北海道、樺太ノ方ガ主トシテ資材ニ適スルヤウ計算シテ居ルノデアリマスルガ、北海道ノ方ハ大體自分ノ島内ノ需給ノ立ツヤウニ計畫シツツアルノデアリマス、樺太ノ方ハ隨分資材ガ多イ見込デアリマシテ、相當其森林ノ利用上「バルブ」ニ依ルノガ宜イト云フノデ、當初非常ニ獎勵シタノデアリマス、デ十分樺太島内ニ於テモ其工場ヲ支持スルコトガ出來ルト云フ確信ノ下ニ、色々計畫ヲ立テ、工場及森林利用上ノ計畫ヲ立テテ居ッタノデアリマス、併ナガラ不幸ニシテ樺太ノ方ハ大正八年カラ樺太松ニ害虫ガ非常ニ發生シマシテ、大分大キナ面積ノ樹ヲ荒シテシマッタ、當時之ハ急速ニ利用シナケレバナラナイト云フノデ、政府ノ手デ伐採シテ他所ニモ向ケ、其需要ヲ得ル爲ニ持ニ島内デ輸出禁止ヲシテ居ッタモノ迄解イタト云フヤウナ情勢ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ其虫害枯損木モ、大體ニ於テ利用シ盡シタ今日ニ於キマシテ、樺太ノ製紙——前ノ完全デアッタ時ノ計畫ニ依ル製紙工場等ヲ、是カラ永イ間持續シテ行ク爲ニハ、ドウシテモ此虫害跡地ニ造林ヲシテ行カナケレバナ

ラナイト云フノデ、昨今其更新法ニ付テ十分研究シマシテ、其結果トシマシテ、造林ヲ來年度カラ始メルコトニシマシテ、其豫算ノ方モ出テ居ルヤウニ聞及ンデ居リマス、成ベク「バルブ」ノ資材ハ其需給ニ待ツヤウノ計畫ノ下ニ造林ハシテ居ルノデアリマス、何シロ森林ノ方ガ是カラドレ程迄發展シテ行クカ分ラナイ「バルブ」ノ需要等ニ對シテ、應ズルト云フコトガ、果シテ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ問題デアリマスケレドモ、兎ニ角出來ルダケノ計畫ハ所管廳デ立テ居ルヤウデアリマス、向ホソレ等ノ需給ノ關係ニ付キマシテハ、之ハドウナルカ分ラヌ、他人ノ財産ヲ當ニスルヤウデアリマスケレドモ、隣ノ西伯利ノ方アタリノ供給モ受ケレバ、虫害ノ結果不足シテ來タモノナドモ、相當補給シ得ルト云フ見込デアアルノデアリマス

○長田委員 北海道、樺太ノ木材ノ石數等ノ調査ガ出來テ居ルノデアリマセウカ、唯漫然ト先ヅ需給ノ希望ガ達シ得ルモノト御認メニナッテ居ル程度ノモノデアリマセウカ、木材ノ石數ノコト或ハ其消費力等ノ對照等ガ出來テ居レバ、數字ヲ戴キタイト思ヒマス
○窪田農林技師 農林省ノ方デアリマス——北海道及樺太ハ自分達ノ直接所管ニナッテ居リマセヌノデ、餘程其調査ニ困難ヲ來シテ居ルノデアリマス、併シ色ミノ點カラ關係ヲ付ケマシテ、「バルブ」ノ資材ト云フモノノミデハ調

ベテ居リマセヌガ、大體ノ事ハ色ミノ手ヲ盡シテ、或ル程度迄ハ調ベテ居リマスガ、樺太ノ方ハ全ク農林省ノ方ガ日本ノ木材需給ト云フコトニ付テハ、之ハ關係ガアルノデアリマスルガ、所管ガマルデ違ッテ居リマスノデ、マダ私共モ見テ居ラナイヤウナコトデ、最近誰カ行カナケレバナルマイト云フコトニナッテ居リマスガ、向フノ方カラノ通知ニ依ル石數等ハ、ソレヲ信用スルヨリ外ニ仕方ガナイコトニナッテ居ル、大體ノ數字ハアリマス、今此所ニハ持ッテ居リマセヌ、樺太ノ方ハ拓殖局所管、北海道ハ内務省所管デアリマス、當該官廳ヘ行ケバ分ルヤウデアリマス

○工藤委員 ソレニ關聯シテ商工次官ニ一寸御伺致シタイ、天然絹絲ノ産業方針ノ方ハ、色ミノ點ニ於テ想像シ得ラレマスル、隨テ人造絹絲ニ關シテハ、此度非常ナ重稅ヲ課シテ居ル、然ルニ一面「バルブ」ハ果シテ人造絹絲ノ材料ニ多ク使ハレルト云フコトデアリマスレバ、此材料ニ依テ人造絹絲ト云フモノハ、相當ナ程度迄産業ガ發達シテ行クモノト見ナケレバナラス、此時ニ當ツテ天然絹絲織物ノ事業ト云フモノハ、ドウ云フ關係ノアルモノデアアルカ、一面ニ於テハ人造絹絲輸入ヲ防遏スル爲ニ重稅ヲ課シ、其其原料タル所ノ「バルブ」ハ〇・二位デ之ヲ輸入スルコトガ輕イ稅デ出來テル、税金ノ安イコトハ私共歡迎シマスケレドモ、此點ニ

關シテ商工省ハドウ云フ調和的政策ヲ執ッテ行ク積リデアアルカ、此際一寸承ツテ置キタイ
○棚瀬政府委員 私唯自分ノ記憶デアリマスルガ、現在ニ於ケル人造絹絲ノ日本ニ於ケル用途ノ約三百萬封度、其中既ニ生産サレテ居ルモノガ二百萬封度、昨年度ハ約百萬封度位這入ッテ居ルカト思ヒマス、併シ今年ノ東京ノ狀況ヲ聽キマスト云フト、其需要高ハ日本ノ生産ヲ以テ充タシ得ルコトニナリハシナイカ、ケレドモソレナラバ一杯一杯ニナッテ行クカト申シマス、需要ハ益増加スル、隨テ生産モ之ニ伴ハネバナラヌト云フ狀況ニ在ルヤウニ承リマス、デ天然絹絲ノ領域ヲ犯スカ犯サヌカト云フコトハ、昨日カモ農林省ノ方カラ答辯シタヤウデアリマスガ、私共ノ聽キマス所デハ、天然絹絲ノ領分ハ犯サナイ、用途ハ全然別途デアアル、斯様ニ聽イテ居リマスカラ、矢張此化學工業ト云フモノハ十分獎勵ヲシ、サウシテ輸入ヲ防遏スルト云フコトハ勿論、更ニ積極的ニ之ヲ輸出ニ迄振向ケル、斯様ナ考デ、隨テ原料ト云フモノハ、安ク供給スルコトガ必要デアルト、斯様ニ思ッテ居リマス

○太田委員 私ハ此「バルブ」ノ問題モ後ニ木材ノ關係ト同一ニ、農林省ノ所謂日本ノ林業ニ對スル方針トシテ御伺ヲ致シタイト思ヒマスカラ、此所ニハ深く御質問ヲ致シマセヌ、唯御願ヒシ

タイト思ヒマス事ハ、北海道、樺太ニ於ケル所ノ關係官廳ニ於テ調査ヲセラレタル資料ガ無論アルデセウ、其資料ニ依テ農林省ガ此「バルブ」問題ニ對シテ御考モアリマセラト思ヒマス、ソレデ商工省ニ於テ御ベニナッタンデモ、何レニ在ッテ御調ベニナッタンコトカ、何レデモ宜シウゴザイマス、兎ニ角此「バルブ」ノ需給關係ニ於テ、現在蓄積シテ居ル原料ト、現在日本ニ於テ「バルブ」ヲ需要シテ居ル數量ト、ソレカラ將來之ヲ如何様ナル方法ニ依テ補填シテ行ク考デアアルカ、將來ノ問題ヲ研究スルニ付テモ、現在蓄積シテ居ル材料及需要シテ居ルモノガドウ位アルカト云フコトヲ知ルノハ、參考ニナルト思ヒマスカラ、是等ニ付テ御取調ベニナッタンモノガアレバ參考トシテ御提出ヲ願ヒタイ、私ハ此希望ヲ述ベテ質問ヲ打切りマス

○加藤委員長 次ハ長田君、三百八十八
○長田委員 三百八十八ニ三百八十九、此稅率ヲ見ルト二圓カラ六圓三十三錢、三十五圓二十錢カラ八十圓ト云フ風ニ飛ンデ居ルノデアリマスルガ、是ハ矢張内地産業ノ保護ト理解スベキモノデアリマスルカ、一段ノ御説明ヲ願ッテ置キタイ
○三輪商工技師 私カラ御説明申上ゲマス、之ニ付キマシテハ、産業ノ保護カラ立脚シテ、三百八十八ハ二圓カラ六

圓三十錢ニ致シタノデアリマス、是ハ原料ノ金剛砂ガ此度課稅セラレルコトニナリマシタノデ、其影響ヲモ考慮シテアルノデゴザイマス

○長田委員 三百八十八モ三百八十八モ内地ニ於テハ殆ド出來ナイヤウニ私ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、内地ニ於テモ出來ルノデアリマスカ

○三輪商工技師 只今御質問ノ三百八十八ノ金剛砂紙ニ付キマシテハ、日本ニ於テ相當ニ生産ガアルノデゴザイマシテ、今剛砂紙ノ製造ハ家庭的ノ工業ニ屬スルモノデアリマシテ、大々的ニハヤッテ居リマセヌノデ、餘リ目立タヌ工業デハゴザイマスルガ、日本ニ於ケル生産額ガ約十萬圓アルノデゴザイマス

○長田委員 三百八十九ニ付テモ一緒ニ御答辯ヲ願ヒマス

○伊藤商工技師 三百八十九ニ付テ御答致シマス、三百八十九ハ印刷シタ所ノ「レット」ニ屬スルモノデアッテ其中ニハ商具ニ附ケルモノヤ、或ハ旅行具ニ附ケルモノ等色ミニ紙ニ印刷シタモノガ多イノデアリマスガ、其生産ハ内地ニ於テ澤山アリマスノデ、外國ノモノヲ用ヒル必要ガナイト云フ見地カラス様ニ致シタノデアリマス

○長田委員 金剛砂紙ニ付テハ十三年度ガ二萬六千餘圓、「レット」ニ於テ二萬三千餘圓ト云フ輸入ガアルガ、之ニ對シテ内地品ヲ保護シヤウト云フノ

デ、斯ク急激ナル増稅ヲサレルト云フヤウニ理解シテ宜シイノデゴザイマスカ

○三輪商工技師 三百八十八ノ金剛砂紙ニ付キマシテハ、現行法ハ輸入品ニ對シテ非常ニ安イ稅ニナッテ居リマシテ、毎百斤二圓ト云フノハ、彼此三分バカリノ稅ニシカナラヌ、隨テ輸入品ハ主トシテ高級ノモノデアリマスルガ、其高級ナ品物ニ對シテハ、我國ノ生産者ハ非常ニ苦シイ立場ニアルノデ、之ヲ一割位ニシタナラバ、内地ノモノデ十分供給シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマスカ

○長田委員 此場合棚瀬次官ニ伺ッテ置キタイノデアリマスルガ、此工業品ニ對スル稅ノ盛方ノ御説明ヲ伺フト、飯塚君ノ言葉ヲ以テスレバ内地産業ノ保護、斯様ニ關稅ノ引上ヲシテ、内地ノ生産ヲ保護スルノデアルト、斯様ナ御言葉ニ歸着スルヤウニ伺ッテ居リマスガ、更ニ進ンデ事實ノ告白トシテノ政府委員ノ御説明ヲ聽クト、何ミ會社ノ利益ガ少イカラ、何ミ會社ハ儲ッテ居ラヌカラ、ソレヲ土臺ニ考ヘテ其會社ヲ保護スル爲ニ増稅シタノデアルト云フコトデアリマスガ、飯塚君ハ與黨トシテ政府委員ニ切込ム際ニ、一般生産ヲ保護スル爲ニ斯クシタノデアルトスレバ足リルノデアッテ、何ヲ苦ンデ其内輪ニ立入ッテ政府ノ腹マデ見セルノデア

ルカト云フヤウナ御言葉ガアッタノデア

アリマスルガ、私ハ此委員會ニ於テ、政府委員會諸君ガ、眞ニ其腹マデサラケ出シテ御説明下サルコトヲ喜ンデ居ル

ノデアリマス、故ニ今日マデノ狀況ニ依テ見ルト、工業品ニ對シテハ第一ニ關稅ノ引上ニ依テ、其生産ヲ増進スルノデアルト云フ原則ハ動カナイヤウニ思ヒマスガ、農產品ノ場合ニ於テハ、關稅ノ引上ノミニ依テ保護スルト云フコトハ思ヒモ寄ラヌ、是ハ他面ニ於テ、ヨリ以上積極的援助ニ依テ之ヲ保護スルノデアルト云フ御説明ガ、一貫シテ居

タノデアリマス、即チ工業品ニ對シテハ第一ニ關稅率ヲ引上ゲテ、主トシテ之ヲ保護スルモノナリトシテ、此稅率法ガ出來テ居ルモノト了解シテ差支ナイノデゴザイマセウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○棚瀬政府委員 農林省ノ方ニ屬スル部分ニ對シテハ、既ニ農林省ノ政府委員カラ御答致シテアルト存ジマスカラ、商工省關係ノ方面ダケニ付テ御答辯申上ゲマス、先程飯塚君ヨリ一ツノ御注意ガアリマシタケレドモ、要スルニ現在日本デ生産シテ居ルモノニシテ、外國品トノ競争ニ堪ヘナイト云フモノニ對シテハ、是ダケハ關稅ニ依テ保護スルト云フコトヲ大體ニ於テ原則ト致シマス、サウシテ尙ホ進ンデ參リマス、第二段ニ於テハ、然ラバサウ云フモノハ如何ナル工場ニ於テ製造シテ居ルカト云フコトニ移ッテ來ル、サウス

ルト何ミ會社ガ製造シテ、其計算ハ斯ノ通りニナッテ居ル、其不足額ハ關稅ニ依テ保護シナケレバナラヌト云フ見地カラ、關稅ノ引上ヲスルト云フコトニナルノデ、飯塚君ノ質問ガアリマシタケレドモ、ドウシテモ是ハ斯ク具體的ニ事實論ニ移ッテ來ナケレバ、明確ナル御答辯ヲ申上ゲルコトハ出來ナイガラウト思ヒマス

○加藤委員長 次ハ星島君——三百九十二ニ付テ……

○星島委員 三百九十二ニ付テハ稅率モ分ッテ居リマスケレドモ、此機會ニ於テ一寸當局ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、三百九十二ノ書畫ハ昨年贅澤品ト指定ニナッタノデアリマスルガ、最近ノ輿論ノ傾向ヲ見マシテモ、吾ミ考ヘテ見マシテモ、此書畫ニ附屬シマシテ一緒ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、骨董、斯ウ云フモノヲ外國カラ日本ノ富豪ガ買ッテ來ルト云フコトハ結構ノヤウニ考ヘマス、又一面カラ見マスレバ富豪ノ道樂トシテハ最モ善イ事デアアル、我國ニ美術品ガ入ルト云フ譯デアリマスカラ、私ハ或ル時期ニ於キマシテ、書畫ノ中デ——三百九十二ノ中ノ「其他」ニ入ルカドウカ知リマセヌガ、所謂骨董品ニ屬スル書畫ハ、寧ロ現在ノ通り無稅ノ方ガ本當デハナイカト思フ、サウシテ寧ロ日本ノ美術品ヲ外國ニ出スコトヲ防遏シナケレバナラヌモノデアナイカト思ヒマス

ガ、斯ウ云フ方面ニ付キマシテ政府ノ御所見、竝ニ最近ニ之ヲ改正セントスル意思アリヤ否ヤ承リタイノデアリマス

○矢部政府委員 只今星島君ノ御尋ガ

ゴザイマシタガ、私モ同感デアリマス、此繪畫、骨董ノ美術品ヲ成ベク我國ニ吸收スル所ノ方針ヲ執ラナケレバナイマイト云フ考デ、ソレハ皆途ヲ講ジテ居リマスノデ、亞米利加ノ如キ百年經ツタモノハ無稅ニサレル、斯ウ云フ風ナコトニナツテ居リマス、我國ニ於キマシテモ「一、其ノ他」デ即チ肉筆ノモノガ無稅ニナテ居リマス、此肉筆ノ立派ナモノハ即チ價值カラ申シマスト非常ナ贅澤ナヤウデアリマスケレドモ、其品物ガ入ルト云フコトハ我國ニ尊イ品物ガ殖エルノデアツテ、ソレガ後ノ參考トナリ、後進ノ手本トナル、教育上、文化上、非常ナツレガ助ケニナルノデア

ルカラ、無稅ニシテモ宜シイ譯デゴザイマスガ、茲ニ別ニ考ヘナケレバナラヌノハ、私ガ申スノハ少シ島嶼ガマシイヤウデアリマスガ、現在ノ貿易狀態ト云フモノハ洵ニ悲況ナ狀態ニアリマスノデ、近來稍恢復シテ來タヤウナ有様デアリマスケレドモ、年々何億ト云フヤウナ輸入超過デアリマスノデ、之ニ向ツテ相當ノ緊縮ヲ加ヘナクテハナラヌト云フ所カラシテ、諸方面ニ向ツテ種々施設シテ居リ、又關稅上ニ於テモ相當ノ方針手段ヲ執ツテ行カナケレバ

ナラヌヤウナ狀態デアリマスガ、近イ中ニ此貿易狀態モ直リマシテ、何トカソレ等ノ方法ヲ執ル機會ガ到着スルデアラウト考ヘマス、御趣旨ハ洵ニ御同感デゴザイマス

○星島委員 大變丁寧ナ答辯ヲ得マシ

テ私モ満足デアリマスガ、關稅改正前ニ於キマシテ、骨董ノミデナクシテ、或ハ書畫ノ如キモノモ、何等カソコニ多少ノ方法ヲ附ケテ、關稅ノ方ヲ除カレルト云フヤウナコトハ出來ヌモノデアリマセウカ

○矢部政府委員 定率法ノ第七條ノ第

十項ノ「官立公立ノ學校、博物館物品陳列所等ノ營造物及命令ヲ以テ指定シアル私立ノ學校ニ陳列スル標本又ハ參考品ニシテ大藏大臣ノ認許シタルモノ」、是ハ改正ノ方デアリマスガ、現行ニ於テモ是ニ類似ノ條項ガアリマシテ、是ノ方法ニ依リマシテ入ルモノガ少ナカラヌノデアリマス、御承知ヲ願ヒマス

○加藤委員長 宜シウゴザイマスガ

○星島委員 ソレ以外ニ何カ方法ハ無

イモノデアリマセウカ、法律改正前ニ……

○矢部政府委員 御答致シマスガ、ソ

レ以外ノ方法ト致シマシテハ、一例トシテ申上ゲマスレバ、或ル畫家ガ佛蘭西ヘ留學シテ、ソシテ描イタ繪ヲ三ツナリ四ツナリ持ツテ參リマシタ時ハ、矢張無稅トシテ居リマス、是亦身分ニ應

ジ數量ニ制限ヲ加ヘナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス

○加藤委員長 長田君、四百一ニ付

テ……

○長田委員 モウ宜シウゴザイマス

○加藤委員長 ソレデハ十一類ハ質問ガ終了致シマシタ、ソコデ十二類ニ付テハ質問ノ通告ガアリマセヌガ、質問ガアリマセヌケレバ是モ終了シタモノト認メマスガ……

○岩切委員 四百五ノ二ノ「カーボラ

ンダム」アランダムデアリマスガ、是ハ私ノ方ノ國デモヤツテ居リマスガ、是ハ矢張外國カラ來ルモノニ課稅スル必要ハアリマセヌカ、又之ニナル前ノ「サ

ンド」ニ課稅スル必要ハアリマセヌカ、

廣島ナドデモ外國カラ入レテ用ヒテ居

ルヤウデアリマスガ……

○三輪商工技師 只今ノ御質問ノ廣島

デ用キテ居リマス物ハ、即チ此「カーボランダム」アランダムト同ジャウナモノナノデアリマシテ、殊ニ只今廣島デ用ヒテ居リマスノハ、ソレハ内地デ以テ製造致シテ居ルノデアリマス、此

現行關稅ガ制定サレマシタ當時ニ於テ

ハ日本デハ全ク生産ガ無カッタノデア

リマス、隨ヒマシテ其當時ハ無稅ト云

フコトニ致シテ居リマシタガ、其後鹿

兒島縣ニ於キマシテ生産ヲ見ルヤウニ

ナリマシテ、尙ホ越後ニ於キマシテモ

電力ノ安價ニ得ラレル所ニ於キマシテハ、最モ獎勵スベキ事業デアルト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ此度ノ關稅改正ニ於キマシテハ、之ヲ有稅ニ致シマシテ保護スル考デ居リマス

○岩切委員 モウ一應簡單ニ伺ヒマス、

御說ノ通り是ハ電氣事業デアリマスガ、化學工業ヨリ得タルモノガ原料トシテ亞米利加カラ非常ニ安く入ッテ來マス、此處デハ製品ダケデ申シマスケレドモ、殆ド「サンド」ヲ電氣ニ掛ケテ出來上ツタモノデ、後ハ固メル位ノモノデアアルガソレガ重要ナ工業ニ今日ハナツテ居ル、是ハ軍需工業デ鹿兒島縣デハ非常ナ損ヲシテ今日漸ク出來上ツタモノデアリマスガ、此處デハ面倒デゴザイマセウカラ、原料ニ對シテ課稅スル必要ガアリハシナイカト云フコト

○三輪商工技師 御答申上ゲマスガ、

只今ノ御質問ノ「カーボランダム」アランダムハ其砂ナンデゴザイマス、砂デアリマシテソレヲ固メマシテ色々實用ニ供シマス時ハ、四百八ノ砥石ニナッテ參リマス「カーボランダム」アランダムモ電氣力デ拵ヘマシテ、ソレヲ今度碎キマシテ砂ニシタモノデゴザイマス、只今御話ノ砂ガ此四百五ノ二ノ「カ

「ボラングム」「アラングム」ニナッテ居
リマス

○加藤委員長 宜シウゴザイマスガ、
十二類ノ質問ハ終了致シマス、十三
類デアリマスガ、之ニ付テハ松本君カ

ラ質問ノ通告ガアリマシタガ、是ハ今
他ニ要件ガ出来タカラ保留シテ歸リタ
イト云フコトデアリマス

○長田委員 四百四十四ノ硝子板デア
リマスガ、「一、甲、乙、丙」トアリマス、

「甲」ハ普通ノ硝子板デ「乙」ガ汽車ノ窓
硝子、「丙」ガ「サンブルウインド」ノ多
キモノデアルト云フコトデアリマス

ガ、此「乙丙」ノ如キハ殆ド内地デ出来
ナイヤウニ承ッテ居リマスガ、之ヲ一躍

稅率ヲ斯様ニ引上ゲルト云フ理由ハド
ウ云フ理由デアリマセウカ、伺ッテ置キ
タイト思ヒマス

○中井商工技師 「乙」ニ屬スルモノハ
大體厚サ三「ミリ」デ、此生産ハ内地ニ

於テ日米板硝子株式會社ト云フ會社ガ
アリマシテ、九州ノ若松ノ附近ノ二島

ト云フ所デ生産シテ居リマス、「丙」其ノ
他「之ニ屬スルモノ」モ矢張此日米板硝

子ニ於テ生産シテ居リマスノデ……
○長田委員 四百五十二ニ付テ伺ヒマ

スガ、寫真用乾板ハ殆ド内地ニ使用ニ
耐ヘルヤウナモノハ出来ナイト云フコ

トデアリマスガ、御承知ノ如ク現在非
常ナ進歩發達ヲシテ、文字ノ代リニ寫

眞ヲ使フト云フヤウニナッテ居リマス
ガ、斯様ナモノニ對シテ内地ノ製品ガ

使用ニ耐ヘナイナラバ、如何ニ保護主
義ノ政府ニ於テモ、之ヲ一躍シテ値上
ゲラスルト云フコトハ、相當斯業ノ邪
魔ニナリハシナイカト思ヒマスガ、ド
ウデアリマセウカ

○中井商工技師 寫真用乾板ニ付テノ
御尋デアリマスガ、是ハ内地ニ於テモ
約三十萬圓位ノ生産ガゴザイマス、現

ニ東京ノ高田ニ於テ東洋乾板株式會社
ト云フノガアリマシテ、之ニ於テ生産

シテ居リマス、ソレカラ「オリエンタ
ル」寫真工業株式會社ト云フノガ東京

市外ノ落合ニアリマスガ、之ニ於テ相
當研究シタ結果、優良ナル品物ガ出来

ルヤウウニナリマシタ、現ニ機械等モ
亞米利加カラ購入シテ、近ク其生産ヲ

見ルコトニナッテ居リマス
○長田委員 モウ一ツ伺ヒマスガ、日

米板硝子ト云フノハ亞米利加ノ專賣特
許ヲ買ッテ來テヤッテ居ルト云フ御話デ

アリマスガ、矢張サウ云フモノデモ内
地製品デアルカラト云フノデ保護スル

主義デアリマスガ
○中井商工技師 日米板硝子會社デ

ヤッテ居リマス方法ハ、亞米利加ノ「リ
ビトオーエンスシードグラス、カンバ

ニー」ノ「コルバーアン」式ノ特許デア
リマス、之ヲ百二十五萬圓バカリデ購

入シテ之ニ依テ生産致シテ居リマス
○加藤委員長 ソレデハ十三類ノ質問

御骨折リデアリマシタカラ、是デ散會
致シマス、明日ハ午前十時カラ午後ハ
稅制整理ノ方ノ本會議ガアルサウデア
リマスカラ、今ノ所デハ午後ハ休ミ、ド
ウゾ午前ハ成ベク早く御願ヒ致シマ
ス

午後三時五十八分散會